

憲法原理
完

法學士 谷口留五郎著

東京 博文館藏版

031489-000-5

21-258

憲法原理

谷口 留五郎 / 著

M23?

BBE-0088



憲法原理目次

第一編

第一章 公法私法

第二章 憲法ノ意義

第三章 憲法ノ種類

第四章 憲法ノ効力

第五章 憲法改正ノ手續

第二編

第六章 國家

第七章 法律上國家ノ性質

第八章 主權

第九章 國家ノ行爲

第拾章 國家ノ機關

第三編

第拾一章 政体

第拾二章 國体

第四編

第拾三章 立憲君主國ノ機關

第拾四章 君主

第拾五章 君位繼承法

第拾六章 攝政

第拾七章 皇族

第五編

第拾八章 法律上議會ノ地位

第拾九章 議會ノ性質

第二拾章 二院制ノ利害

第二拾一章 兩院ノ關係

第二拾二章 上院ノ組織

第二拾三章 下院ノ組織

第二拾四章 議會ノ會期

第二拾五章 議員ノ就職及解任

第二拾六章 議員ノ地位

第二拾七章 議會ノ權力

第六編

第二拾八章 立法行政司法ノ區別

第二拾九章 法律命令ノ關係

第三拾章 命令ノ種類

第三拾一章 非常處分

第七編

第三拾二章 財政

第三拾三章 豫算

第三拾四章 豫算ト法律トノ關係

第三拾五章 豫算ノ効力

第三拾六章 各國豫算案及其他財政案ノ比較

憲法原理目次終

憲法原理

法學士 谷口留五郎著

第一編

第一章 公法私法

羅馬法ハ各國
法ノ源泉

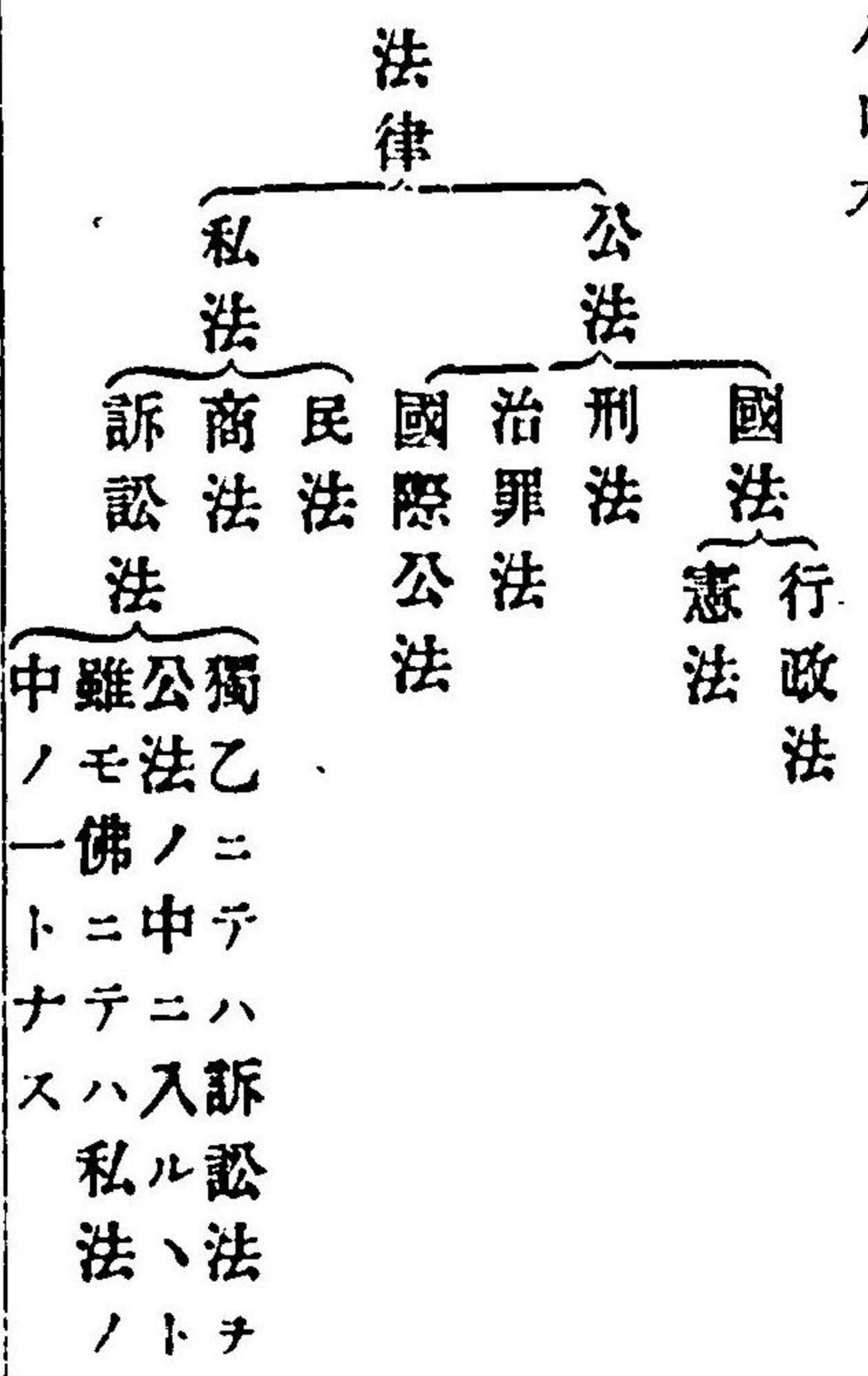
凡ソ學者法律ヲ講スルニ當リ羅馬法ニ溯ルヲ常トス蓋シ羅馬ニ於テハ法律夙ニ進歩シ近世歐洲諸國ニ於ケル法律ノ淵源タリ師祖タリ佛蘭西法ノ如キ獨乙法ノ如キ皆其直接繼受法タルニ過ギズ英國ノ如キ自國ノ慣習法ヲ以テ誇稱セルモ亦羅馬法ノ流亞ヲ掬ムモノタルトハ近世學者ノ疑ハザル所ナリ今遠ク羅馬法ニ溯リ公法私法ノ別ヲ尋ヌルニシヤスチニアン、インスチチュート法典第一編第一章ニ公法ハ公益ニ關スル法律ナリ私法ハ私益ニ關スル法律ナリト解セリ後世學者之ニ依リ公法私

公法私法ノ別

法ノ別ヲ説クヲ常トス然レモ此ノ區別タルヤ漠然トシテ頗ル明瞭チ欠ク所アリ公法必ズシモ公益ニ關スルニアラズ私法必ズシモ私益ニ關スルニアラズ故ニ今或ル公法學者ノ説ニ依リ公法私法ノ別ヲ説カンニ私法トハ一人私人相互ノ關係ヲ規定セル法律ヲ云ヒ公法トハ國家ノ關係即チ國家ト國家ノ一員タル臣民トノ關係ヲ規定セル法律ヲ云フ例ヘバ民法ニ於テ契約法ハ契約者双方間ノ關係ヲ規定シ賣買法ハ賣主買主間ノ關係ヲ規定ス故ニ共ニ私法ノ部ニ屬ス又憲法ハ君主ノ國家及臣民ニ對スル關係又ハ臣民ノ國家ニ對スル關係ヲ規定ス故ニ公法ノ部ニ屬ス又刑法ノ如キモ國家ガ原告トナリ犯罪人ヲ告訴スルモノナルヲ以テ亦公法ノ部ニ屬スベキモノトス之ヲ要スルニ私法ハ主トシテ財産上ノ關係ニシテ公法ハ權力上ノ關係ナリト云フヲ得ベシ

國法ノ意義

近世屢國法ナル語ヲ用ユルモノアリ人々其意義ヲ異ニス蓋シ國法トハ獨乙語ニ云フスターツレヒト(Interrecht)ナリ國法ナル言ハ狹義ニ用ユルコトアリ又廣義ニ用ユルコトアリ之ヲ廣義ニ用ユルハ公法ト同義ニ用ヒ又ハ行政法及憲法ヲ合セ稱スルコトアリ又之ヲ狹義ニ用ユルハ憲法ノ臣民ノ權利義務ニ關スル部ヲ指スコトアリ然レモ通常國法トハ行政法及憲法ヲ合セ稱スルモノトス



第二章 憲法ノ意義

憲法ナル語ノ二義

憲法ハ公法ノ一部ニシテ一國政体ノ大本ヲ定ムル法律ナリ然レモ憲法ナル語ヲ狹義及廣義ノ二様ニ用ユルコトアリ

廣義ノ憲法

第一廣義ノ憲法 國家統治權ノ組織及運用ノ大本ニ關スル一般ノ規定ナリ故ニ其ノ習慣法タルト成文法タルトナ同ハズ一國政体ノ大本ニ關係アルモノハ悉ク之ヲ憲法ト云フ英國憲法ノ成文ニナルモノハ千二百十五年ノマグナカーター及千六百二十六年ノ權利請願等ノ如キモノニシテ其他ハ法令判決慣習等ニシテ憲法ノ全体カ一個ノ法典ナラスモノニアラザルナリ第二狹義ノ憲法 單ニ其國ノ成文憲法ノミヲ指ス故ニ我國ニテハ七十六條ノ憲法ヲ云ヒ普國ニテハ百十九條ノ憲法ヲ云ヒ獨乙帝國ニテハ七十八條ノ憲法ヲ云フ故ニ狹義ニテ憲法ト云フ時ハ甲國ノ憲法ハ乙國ノ憲法ト其合ム所ノ材料ヲ異ニス例

狹義ノ憲法

ヘバ普國ノ憲法ハ第一章國士第二章臣民ノ權利義務第三章君主第四章國務大臣第五章議會第六章司法第七章行政官第八章會計第九章地方制度及凡則補則ヲ掲グ我帝國憲法ニテハ第一章天皇第二章臣民ノ權利義務第三章帝國議會第四章國務大臣及樞密顧問第五章司法第六章會計第七章補則ヲ掲グ而シテ國土及ビ地方制度ヲ載セズ又々佛國憲法ノ如キハ至ク臣民ノ權利義務ニ關スル條項ヲ欠ク此クノ如ク各國憲法ノ成文ヲ比較對照スルキハ繁簡省畧ノ別アリテ一様ナラズ故ニ余ハ主トシテ廣義ノ憲法ニヨリ政体ニ關スル法規ノ大綱ヲ叙説セントス

第三章 憲法ノ種類

憲法ノ種類

憲法ハ其體裁ノ如何成立ノ如何變更ノ手續如何ノ三點ヨリ種々ニ區別スルコトヲ得ベシ

體裁上ノ區別

第一體裁上ノ區別

成文不文

(甲)不文憲法(乙)成文憲法

不文憲法トハ其憲法ノ全体ガ慣習ノミヨリ成ルカ又ハ慣習及明文アル法規ヨリ成ルモノヲ云フ例ヘバ英國ニ於テ憲法ハ明文ヲ以テ一時ニ制定シタルモノニアラズ千有餘年ヲ經テ漸次ニ發達進歩シタルモノニシテ慣習君民ノ約束法令判決等ヨリ成ルモノナリ

成文憲法トハ憲法ノ全体ガ一個ノ法典ヲナスモノナリ例ヘバ日本帝國憲法普國憲法米國憲法ノ如ク一時ニ制定シタルモノニシテ一個ノ法典ヲナスモノヲ云フ

第二成立上ノ區別

成立上ノ區別
歴史、欽定、民定

(甲)歴史の憲法(乙)欽定憲法(丙)民定憲法

歴史の憲法トハ一時ニ制定シタルモノニアラスシテ漸次ニ慣

習等ヨリ成ルモノヲ云フ例ヘハ英國憲法ノ類ヲ云フ夫ノ「マクナカーター」及ヒ權利請願ノ如キハ其ノ以前ヨリ成立セル慣習等ヲ編纂シタルモノニ過キサルナリ

欽定憲法トハ主權者カ親ヲ制定シテ發布シタルモノヲ云フ例ヘハ日本帝國憲法千八百五十年ノ普國憲法ノ如キヲ云フ

民定憲法トハ臣民カ制定シタル憲法ニシテ臣民ノ總意ヨリナル憲法ナリ故ニ時トシテハ人民ノ代表者ヲシテ之レヲ制定セシムルコトアリ米國憲法佛國現行憲法ノ類ヲ云フ

變更上ノ區別

第三變更上ノ區別

軟性硬性

(甲)軟性憲法(乙)硬性憲法

此ノ區別ハダイシノ唱フル所ニ據ル軟性憲法トハ通常立法ノ手續ニ依リ之レヲ改正シ又ハ廢止スルヲ得ルモノヲ云フ英國ニ於テハ憲法ヲ改正又ハ廢止スルニハ通常ノ立法手續ヲ以

テスルモノニシテ其効力ニ至テモ亦通常ノ法律ト異ルヲナシ
 故ニ法理上英國ニ於テハ違憲ノ法律ナシト云フヲ得ヘシ
 硬性憲法トハ其改正廢止ハ通常ノ立法手續ニ依ルヲ得サルモ
 ノチ云フ例ヘハ日本帝國憲法ハ其改正廢止ハ通常ノ立法手續
 チ以テナシ得サルモノニシテ之レヲ改正廢止セントスルニハ
 勅令ヲ以テ議案ヲ議會ニ付シ兩院三分二以上ノ多數ヲ得サル
 可ラス

第四章 憲法ノ効力

憲法ノ効力
 英國ニテハ法
 律ト同シ

英國ニ於テハ憲法ハ尋常ノ法律ト其制定變更廢止ノ手續ノ異
 ルヲナキノミナラス其効力ニ至テモ全ク同一ナルモノトス故
 ニ大憲章及權利請願ノ如キ國民自由ノ金科玉條モ又尋常一般
 ノ法律ニシテ民權ノ消長ニ大關係ナキモノモ全様ノ手續ヲ以
 テ議會ヲ經過シ國王ノ裁可ヲ得タル時ハ之レヲ廢止シ又ハ改

米國及歐洲諸
 國ハ憲法ヲ以
 テ立法權ヲ制
 限ス

憲法ヲ問フノ
 法廷

正スルヲ得ベシ故ニ英國議會ハ法理上立法ニ關シテ無限ノ
 權力ヲ有シ其欲スル所ハ即法律ニシテ違憲ノ法律ト稱スヘキ
 モノナシ之レニ反シテ米國及歐洲大陸諸國ニ於テハ立法權ハ
 憲法ノ爲メニ制限セラレ違憲ノ法律ヲ制定スルヲ得ズ憲法ハ
 尋常法律ヨリハ一層高等ノ地位ヲ占ル尋常一般ノ法律ノ範圍
 ナリ其範圍ヲ超ユルモノハ違憲ノ法律トナス此クノ如ク英國
 ニ於テハ憲法ト法律ト其効力ヲ全フスルヲ以テ違憲ノ法律ナ
 シト雖モ米國及歐洲大陸諸國ニ於テハ憲法ト法律ト効力ヲ異
 ニスルヲ以テ憲法違反ノ法律アリ然ラハ其法律ノ果シテ違憲
 ナルヤ否ヤヲ判スルハ如何ナル機關アリテ之レヲ掌ルヤト云
 フニ歐洲大陸諸國ニ於テハ斯ル權利ヲ有スル機關ナシ然レモ
 米國ニ於テハ裁判所ハ其違憲ノ法律ナルヤ否ヤヲ判決スルノ
 權利ヲ有ス吾國ニ於テハ明文ナキヲ以テ斯ル機關ナシト解ス

憲法ト法律ノ形式上ノ差違

ルヲ至當トス
以上述ヘタルカ如ク英國ニ於テハ憲法ハ形式上體質上尋常ノ法律ト少シモ異ルヲナケレモ米國及歐洲大陸諸國ニ於テ憲法ト法律トノ形式上ノ差異ハ其公布及改正ノ手續ニアリ而シテ體質上憲法ハ法律勅令ト少シモ異ルコトナシ只行政官ノ命令ト異ル所ハ憲法法律勅令ハ之レヲ裁判所ニ訴フルヲ得サルノミ

第五章 憲法改正ノ手續

各國憲法改正ノ手續

英國ヲ除クノ外歐米諸國其國家ノ組織ヲ永遠ニ保持シ黨熱ノ爲メニ急激ノ改革ヲ防止センカ爲メニ憲法ノ改正廢止ハ通常立法ノ方法ヨリ其手續ヲ困難ニシ且ツ之レニ慎重ヲ加フ今左ニ各國憲法改正ノ手續ヲ示サン
前章已ニ陳述シタルカ如ク英國ニ於テハ憲法ノ制定廢止改更

英國

佛國

米國

普國

ハ特別ノ方法ヲ設ケス尋常立法ノ手續ト少シモ異ルヲナシ只政治上國家ノ組織及臣民ノ權利義務ニ大關係アル議案ハ熟議ヲ遂ケ特ニ慎重ヲ加フルノミ佛國ニ於テハ憲法修正案ハ其兩院ノ發議ニ出テタルト大統領ノ請求ニ出テタルトナ問ハズ各院別々ニ過半数ヲ以テ其可否ヲ決シ若シ可決シタルハ其修正ニ取掛ル爲メニ兩院ノ總會ヲ組成シ其總員ノ過半数ヲ以テ決ス米國ニ於テハ憲法修正ノ手續ニ二様アリ兩院三分二ノ同意アルトキハ憲法修正ノ發議ヲナスヲ得又各邦立法府三分二ノ同意アルトキハ其修正ノ爲メニ議會ヲ開クヲ得而シテ議院ハ各邦立法府ノ議決ヲ經ルカ又ハ別ニ議會ヲ開キ其議決ヲ經ルカニノ方法孰レヲ採ルモ其隨意タリトス然レモ其四分ノ三ノ同意ヲ要ス普國ニ於テハ憲法修正案起草權ハ君主及兩院ニ屬シ尋常立法ノ手續ヲ以テ憲法ヲ修正ス然レモ其議決ニ鄭

獨乙

日本

重ヲ加ヘ再議ヲ要スルコトナシ第二回ノ議決ハ第一回ノ議決後少クトモ二十一日間ヲ經過セザル可シズ獨乙帝國ニ於テハ共議院ニ於テ五十九票ノ中十四以上ノ反對投票アリタルハ其改正案ヲ廢止ス我帝國ニ於テハ憲法ノ修正ハ勅命ヲ以テ議案ヲ帝國會議ノ議ニ付シ兩院各三分二以上ノ出席ヲ要シ出席議員三分二以上ノ議決ヲ要ス是ニ依リ之レ觀ル時ハ軟性憲法ニ於テハ其修正手續ハ通常立法ノ方法ト全一ナリト雖モ硬性憲法ニ於テハ多少其手續ヲ困難ニス

第二編

第六章 國家

希臘ノ古哲アリストトール氏曰ク人間ハ結社的動物ナリト蓋

國家ハ人間ノ團體

團體ノ二種

行爲ノ制限アルモノ及無キモノ

國家ハ行爲ニ制限ナキ團體

國家ノ三要素

國家ノ二種

單立複立

シ人間ハ榮獨シテ生存スル能ハズ必ズ緩急相援ケ有無相通シテ以テ團體ヲ組成スル動物タルノ謂ナリ故ニ茲ニ人間アレバ必ズ團體アリ團體トハ人間衆多ノ集合体ニシテ機關及意志ヲ有其一員タル人間ヲシテ之レニ服從セシムルモノヲ云フ團體ニシ二種アリ一ハ其行爲ノ制限アルモノ一ハ其行爲ノ制限ナキモノトス行爲ノ制限アルモノトハ宗教ヲ目的トスル教會ノ類又ハ利益ヲ目的トスル營業會社ノ類ヲ云フ其行爲ノ制限ナキモノトハ一疆土ヲ占領セル人民衆多ノ集合ヨリ成ル政治的團體即チ國家ヲ云フ國家ノ要素ニ三種アリ行爲ノ自由、疆土、衆多ノ人民ナリトス而シテ又國家ノ種類ニ二アリ一ハ單立國ト云フ即チ一疆土ニ一國家ノ存立スルモノナリ一ハ複立國ト云フ二個又ハ二個以上ノ國家ノ聯合スルモノナリ單立國及複立國ハ自由ノ行爲ヲ有スルハ勿論ナレモ其複立國ヲ組成スル各邦ハ

古昔國家ノ單

一

自由ノ行爲ヲ有セザルモノナリ
 古昔ニ在リテハ國家ハ頗ル單一ナルモノニシテ市府即チ國家
 ニシテ市府ノ外ニ亦政治團體アルヲナシ然レモ羅馬ノ末世ニ
 至リ疆土頗ル廣大ニシテ羅馬府ト地方トノ區別ヲ生ジ帝ハ主
 權ヲ掌握シテ四海ニ君臨セリ其後帝國分裂瓦解シテ諸小國蜂
 起スルニ及ビ各國君主代リテ各主權ヲ占有スルニ至レリ而シ
 十六世紀ヨリ十八世紀ニ至ルノ頃中央集權共々強盛ナリシニ
 モ拘ハラズ國家及一個人ノ間ニ介立スル地方團體ヲ認メ國家
 ハ主權ヲ有シ地方團體ハ主權ヲ有セザルモノトセリ故ニ主權
 ノ有無ヲ以テ國家及地方團體ヲ區別スルノ標準トナシタリ
 然レモ現今複立國ノ起ルニ及ビ主權ノ有無ヲ以テ國家ト國家
 ニアラサルトノ區別ヲナスヲ得ザルニ至レリ此レ他ナシ複立
 國ヲ組成スル各邦ハ其上ニ聯邦ヲ戴キ各自ニ主權ヲ有スルコ

國家ニ主權ヲ
有スル者ト有
セザルモノア
リ

國家ト地方團
體ノ別

ナキガ故ニ國家ノ下ニ隸屬スル地方ト區別スル所ナキヲ以テ
 ナリ是ヲ以テ國家ノ要素中ニハ主權ヲ必要トセズシテ主權ヲ
 有スル國家ト主權ヲ有セザル國家アリト云フヲ得ベシ主權ノ
 有無ヲ以テ國家ト國家ニアラザルトノ區別ノ標準トナスコト
 得ザルトスル時ハ如何ニシテ國家及地方團體トノ區別ヲナス
 ヲ得ルヤ國家ト地方團體トノ區別ハ國家ハ其權ヲ國家ガ固有
 ニ有スルモノニシテ地方團體ハ之レヲ國家ヨリ委託セラル、
 モノナリト云フモノアレモ未ダ正鵠ヲ得タルモノニアラズ地
 方團體ト雖モ固有ニ權ヲ有スルコトアリ何ゾヤ固有ニ權ヲ有スル
 モノ豈ニ獨リ國家ニ限ランヤ又或者說ヲナシテ曰ク國家ハ國家ノ
 目的ヲ達スルモノナリ地方團體ハ地方團體ノ目的ヲ達スルモノ
 ナリト然レモ國家ノ目的ト地方團體ノ目的トハ判然タル區別
 チナシ得ベキモノニアラズ故ニ國家及地方團體ノ區別ハ國家

主權ナキ國家
ト地方團體ノ
別

カ其地方團體ノ上ニ有スル權ハ法律上無制限ニシテ聯邦カ其各邦ノ上ニ有スル權ハ法律上制限アルモノトスルヲ以テ最モ妥當ナリトス而シテ又聯邦中ノ各邦ハ地方團體ノ有セザル權ヲ併有スルモノナリニ權トハ何ゾヤ曰ク自國ノ法律及憲法ヲ有スルコト是レナリ
故ニ以上述べタルガ如ク國家ニ二種アリ主權國及非主權國トス主權國ハ他ノ主權ニ服從セザルモノナ云ヒ非主權國トハ其聯邦ノ主權ヲ仰グモノナ云フ

第七章 法律上國家ノ性質

古來學者國家ノ性質ヲ論スルモノ多ク「マキアベリ」「ボディン」「アロシヤス」「ルソー」「ホッブズ」「ブッフヘンドルフ」「カント」「フンボルト」等枚舉ニ遑アジズ或ハ國家ハ自由人民ガ法律ノ保護ヲ享ケ公益ヲ増進スル爲メニ結合シタル團體ナリト云ヒ或ハ國家ハ人民

國家ノ性質

ブルンチユ
ヴィ氏ノ國家
ノ要素

ノ自由意志ニ基キタル契約ニ由リ結合シタル無形人ナリト云ヒ或ハ君主即チ國家ナリト云ヒ或ハ國家ハ法治國タルベキモノニシテ其要各人民ノ權利ヲ保護スルニアリト云ヒ或ハ國家ハ只ニ各人民ノ權利ヲ保護スルニ止マラズ凡テ國利民福ヲ増進スベキモノナリト云ヒ或ハ國家ハ有機體ナリト云ヒ千殊萬別各其說ヲ異ニシ歸一スル所ナシ是レ他ナシ諸家各立論ノ點ヲ全フセズ或ハ歴史的ニ或ハ哲學的ニ或ハ生物學的ニ或ハ心理學的ニ觀察ヲ下シ以テ國家ノ性質ヲ説明スルニ由レハナリ有名ナル「ブルンチユリ」ハ國家論第一編第一章ニ國家ノ觀念ヲ論シ左ノ要素ヲ示セリ

- 第一多數ノ人民
- 第二一定ノ土地
- 第三統一ナカラサル可ラス

第四治者被治者ノ別

第五有機體ナルヲ

第六人格ヲ有スルヲ

第七男性ナルヲ

「ブルンチユリー」ノ論ハ全ク國家學的ノ觀念ニ過キス余カ此ニ云フ法理上ノ國家ハ無形人ニシテ公法上ノ權利ノ主体ナリ臣民ヲ統治スルノ權ハ國家其モノニアリテ而シテ君主其人ニアラス君主ハ只ニ國家ノ機關タルニ過キス然レモ當今猶ホ國家ハ即チ君主ナリ君主ハ即チ國家ナリトノ舊說ヲ主持スルモノ學者間ニ乏シキニアラスト雖モ余ノ探ラサル所ナリ

第八章 主權

本來主權ナル語ハ羅馬ヨリ來レルモノニシテ羅馬帝ノ權ヲ指シテ主權ト呼ビタリ其後羅馬帝國亡滅瓦解シテ諸小國蜂起ス

主權ナル語ノ
濫觴

主權無制限說
ノ誤謬

主權ナル語ノ
二種ノ意義

ルニ及ビ各國君主ハ各自主權ヲ借スルニ至レリ主權ナル語ヲ主トシテ用ヒタルハ佛國ニ在リ始メ佛國ニ於テハ國家ノ獨立チ主權ト呼ビタリシガ佛帝ガ諸侯ヲ壓倒シ中央政府ニ集權スルニ及ビ國內無限ノ權力ヲ稱シテ主權ト云フニ至レリ現世紀ノ始メニ至ルマデ國家學ニ於テ主權ハ君主無限ノ權力ナリト云フ意義ニ用ヒタリ然ルニ又一方ニ於テハ十七世紀及十八世紀ノ頃ルソー等主權ハ人民ニ在リトノ說ヲ唱ヘ佛國ニ於テハ大革命ノ時此ノ主義ニ基キ憲法ヲ制定スルニ至レリ現世紀ニ於テ各國憲法ヲ制定スルニ及ビ主權ニ制限ナシト云フノ說ハ全ク陳腐ニ屬スルニ至リ又國家學ノ進歩ト共ニ國家及君主ノ區別漸々瞭然タルニ至レリ
以上陳ベタルガ如ク主權ナル語ハ舊來君主及國家ノ區別明カナラザル時ニ生シタルモノナルヲ以テ現今尙其慣習ニ從ヒニ

獨立國家ノ權

様ニ用ユルコアリ

第一、主權トハ獨立國家ノ權力ヲ指シ之ヲ分チテ國內主權國外主權トス國外主權トハ他國ノ羈絆ヲ受ケザルヲ云ヒ國內主權トハ其臣民ヲ統御スルノ權ヲ云フ

國家ノ最高權
掌握者

第二、一人又ハ數人ガ一國ノ最高權ヲ掌握スル場合ニハ其一人又ハ數人ノ權力ヲ指シテ主權ト云フ主權ハ國家ノ最高權ニシテ敢テ他ノ制限ヲ受ケズト雖モ亦一方ヨリ見ル時ハ無制限ト云フ可ラズ何トナレバ其之ヲ行ハントスルニハ一定ノ成式ニ從ヒ又ハ或ル機關ノ協賛ヲ要スレバナリ我帝國憲法第四條ニ天皇ハ國ノ元首ニシテ統治權ヲ總攬シ此ノ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フトアリ伊藤伯ハ之ヲ解シテ統治權ヲ總攬スルハ主權ノ体ナリ憲法ノ條規ニ依リ之ヲ行フハ主權ノ用ナリト云ヘリ以テ其統治權ノ無制限ナラザルヲ見ルベシ然ルニ學者往々主

權ニ制限ナシトナスハ君主即チ國家ナリト謂フノ譯說ニ出ツルモノナリ

第九章 國家ノ行爲

國家ノ意志ノ
發表
立法
行法
行法ノ二種
行政及司法

國家ノ意志外ニ彰ハレ行爲トナリテ二方ニ發動ス一ヲ立法ト云ヒ一ヲ行法ト云フ立法トハ普通準繩ノ大則ヲ定ムルヲ云ヒ行法トハ特殊ノ場合ニ履踐スベキ規準ヲ發スルヲ云フ行法ハ之レヲニニ分チ一ヲ行政トシ一ヲ司法トス司法ハ法律ノ適用ヲ掌ルニアリ行政ハ國利民福ヲ増進スルヲ目的トナスニアリ立法ハ行政及司法ノ範圍限界ヲ規定スルモノニシテ自ラ行政及司法ノ上ニ効力ヲ有スルモノトス司法ハ單ニ法律規則ノ適用ニ止マレモ行政ハ法律ノ範圍限界内ニ於テ權宜ノ處置ヲ施スノミナラズ亦法律規則ノ適用ヲナスコアリ國家カ行政ノ範圍ヲ確然規定シ且ツ法律ニ遵由シ行政ヲ施行スル時ハ之ヲ法

法治國

治國ト云フ

憲法

英國ノ憲法ハ
立法權ノ上ニ
立タズ

立法ハ國家ノ最高行爲ニシテ形式上無制限ナルモノナリト雖モ尙其上ニ効力ノ超出スルモノアリ之ヲ憲法ト云フ故ニ憲法ノ規定ハ立法ヲ制限スルモノト云フベシ然レモ是レ亞米利加合衆國及歐洲大陸諸國ニ就テ云フベクシテ英國ニ於テハ適用ス可ラサルノ論ナリ蓋シ歐洲大陸諸國ニ於テハ憲法ノ變更ハ普通立法ノ機關之レヲ掌ドリ只其變更ノ手續ヲ難ニシ又米國ニ於テハ特別ノ機關アリテ憲法ノ制定改正ヲ掌ドル之レニ反シテ英國ニ於テハ憲法ハ尋常法律ト其効力ト均ソシ其變更廢止ノ手續モ亦尋常立法ノ手續ト異ルコトナシ

司法
行政

司法ハ法律ノ適用ヲ任トスルモノナルヲ以テ如何ナル場合ト雖モ決シテ法律ト矛盾ス可ラズ之レニ反シテ行政ハ國家ノ安寧秩序ヲ保持スルニ必要ナル場合ニ限り法律ノ區域ヲ踰越ス

主權師一

ルコトヲ得之レテ國家ノ非常權ト云フ

國家ノ權ハ之レテ其下ニ隸屬スル種々ノ機關ニ委任スト雖モ翕然歸一ヲ要シ个々分離ス可ラズ「モンテスキュー」ハ大權分立說ヲ唱ヘテ曰ク立法司法行政ハ之ヲ各機關ニ分任シ又其權力ニ至テモ少シモ輕重アラシム可ラズト此說タルヤ理論上誤謬タルヲ免レザルノミナラズ氏ノ立論ノ基礎タル英國ノ制度ヲ觀ルモ實際斯クノ如ク三權ノ分立判然ナラズ三權ヲ合セテ一機關ノ總攬スル所トナスハ疑フ可ラザルノ事實ニシテ三權等シク一淵源ニ起因スルハ猶ホ身体ヲ環行スル幾多ノ血脈ハ其源ヲ心臟ニ發スルガ如シ若シ互ニ鼎立シテ相統一セザル時ハ國家ハ爲メニ分裂瓦解ノ禍ヲ免レザルベシ「モンテスキュー」ノ謬說ハ久シク歐洲諸國ニ行ハレ殊ニ亞米利加合衆國ニ大ニ勢力ヲ及ボシ三權分立說ヲ採リ憲法ヲ制定スルニ至レリ然レモ

國家ハ法人

尙起憲ノ機關アリテ三權ヲ統一シ國家全局ノ一致ヲ保持ス

第十章 國家ノ機關

國家ハ法人ナリ權利ノ主体ナリ故ニ其權利ヲ運用セントスルニハ有形人ニ藉ラザル可ラズ國家ノ權利ハ一人又ハ數人ニ委任スルコトアリ是レ即チ國家ノ機關ニシテ其意志及行爲ハ國家ノ意志及行爲トナリテ外ニ發動ス國家ノ機關ハ數多アリテ互ニ上下主従ノ關係ナナス國家ノ最高權即チ統治權ハ國家ノ最高機關之レヲ運用ス然レモ統治權ハ其機關ノ成立トハ全ク獨立ニシテ機關ハ只ニ統治權ヲ代表スルノミ故ニ今其機關ノ廢滅スルコトアリトスルモ國家ノ統治權ハ依然國家ニアルモノトス例ヘハ統治權ヲ代表スル處ノ國家ノ元首ヲ廢スルカ又ハ國家ノ組織ヲ一變シ共和政治ヲ改メテ君主立憲政治トナシ又ハ立憲君主政治ヲ改メテ共和政治トナスコトアルモ國家ノ最高權

統治權ハ國家ト雖ル、コトナシ

統治權ヲ有形ニ主宰スル機關ハ乃ハチ主權者ナリ
統治權ノ運用ニ要スル協賛

即チ統治權ハ依然國家ニ在リテ少シモ變動ナキモノトス
國家ノ統治權ハ之チ一ツノ機關ニ委任ス之レヲ統治者又ハ主權者ト云フ專制君主國ニ於テ君主ハ即チ主權者ナリ共和國ニ於テ公民ノ集合即チ議會ハ主權者ナリ
統治權ヲ運用スルニ當リ一二ノ機關ノ協賛ヲ要ス即チ立憲君主國及代議制共和國ニ於テハ然リトス時トシテハ數個ノ機關合体シテ統治權ヲ總攬スルコトアリ例ヘハ英國ニ於テハ上下兩院及國王相集マリテ統治權ヲ總攬ス現今獨乙代議制共和市府ニ於テハ元老院及公民共ニ統治權ヲ總攬ス之レニ反シテ佛ノシヤト及今時獨乙各邦ノ憲法ニ依レハ君主ハ統治權ノ總攬者ニシテ議會ハ只ニ統治權ノ運用ヲ制限スルノ機關タルニ過キス故ニ立憲君主國ニ於テハ君主ハ自ラ統治權ヲ總攬シ議會ハ其權ノ一部ヲ委任セラル、ノミトス代議制共和國ニ於テハ

代議制共和國ノ主權ハ人民ニアリ
君主國ノ主權ハ世襲君主ノ手ニアリ

統治權ハ人民ニ在リ故ニ國家ノ最高機關ハ人民ノ選舉ニ係ルモノトス然レモ亦或邦ノ憲法ニ於テハ國家ニ世襲君主ヲ置キ統治權ハ國民ノ手ニ在リトシ君主ノ權ハ臣民ノ委任ニ出ツトナスモノアリ即チ佛蘭西共和國大統領那翁第一世及第三世ノ如ハ遂ニ其職ヲ世襲シタルカ如シ又人民ノ叛亂ニ由リ邦國ヲ創立シタルカ如キ際ニ當リテ統治權ハ臣民ノ手ニ在リトナスコアリ即チ白耳義憲法第二十五條ニ凡テ政權ハ國民ヨリ生ス政權ヲ行フハ建國法ニ定ムル所ノ規範ニ從フト又其第七十八條ニ國王ハ建國法及建國法ニ由リ特ニ掲ケタル法章ニ明カニ皈附スル所ノモノヲ除ク外ハ他ノ權勢ヲ有セズトアルガ如シ

第三編

第十一章 政体

今ヲ去ルコト殆ド二千有余年前アリストートルノ考案ニ係ル政体ノ分類ハ今日猶ホ學者ノ探ル所ニシテ主權ノ觀念ニ基キ區別シタル者ナリ蓋シ政体ハ國家最高機關ノ形狀如何ニ由リ差異ヲ生スルモノナルヲ以テ國家ノ最高機關ニ基テ分類シタルモノナリ

アリストートル氏ノ國家ノ分類

アリストートルハ國家ガ社會全般ノ幸福ヲ増進セントシテ圖ル所ハ之レチ正体ノ國家ト云ヒ若シ其主權者ガ自己ノ利益ノミヲ圖ルトキハ之レチ變体ノ國家ト云ヘリ
國家ノ種類ニ三アリ主權ハ之レチ一人ガ有スルコトアリ又ハ少數ノ人民ガ之レチ有スルコトアリ又多數ノ人民ガ之レチ有スルコトアリ一人ガ主權ヲ有スルトキハ之ヲ君主政治ト云ヒ少數ノ

人民ガ之ヲ有スルルハ之ヲ貴族政治ト云ヒ多數ノ人民ガ之レ
ヲ有スルルハ之レヲ共和政治ト云フ

君主政治

貴族政治

共和政治

君主政治ノ變体ヲ「デスポチズム」ト云ヒ貴族政治ノ變体ヲ「ナリ
ガーク」ト云ヒ共和政治ノ變体ヲ「デモクラシー」又ハ「ナグロク
ラシー」ト云フブルンチ「リ」ハ尙此外ニ神政治ナルモノヲ加ヘ
タリ然レモ是レ政体ノ分類中ニ加フベキモノニアラズ神政治
トハ主權ヲ神ニ歸シ之レヲ運用スルモノハ神ノ使者又ハ僕隸
ニシテ眞ニ主權ヲ掌握スルモノハ神ニアリト云フ思想ヨリ起
レル政体ナリト雖モ主權ヲ運用スルモノハ一人又ハ數人ニア
リ故ニ余ハ神政治ト雖モ右三種ノ政体中ノ一ニ屬スヘキモノ
ナリト信ス

混合政治

右三種ノ政体ノ外ニ尙ホ混合政治アリチセロハ羅馬國ハ君主
政治、貴族政治、及共和政治ノ混合政治ナリト云ヒ、タリ蓋シ混合

英國ノ混合政
治

政治トハ右三政体カ他ノ政体ニ依リ制限セラル、モノヲ云フ
例ヘハ君主政治ガ下院又ハ上院ニ依リテ制限セラル、トアリ
故ニ混合政体ハ一人又ハ少數ノ人民又ハ多數ノ人民カ各專斷
ヲ以テ事ヲ處スルヨリ宜シキハ辨ヲ竣タスシテ明カナリ混合
政治ト雖モ亦右三種ノ政体ノ外ニ出ルモノニアラスシテ其主
權ノ一人又ハ少數ノ人民又ハ多數ノ人民ニ歸スル點ニ至テハ
全一ナリ主權ハ決シテ分割シ得ヘキモノニアラス若シ主權ニ
シテ一部ハ君主一部ハ貴族一部ハ平民ニ屬スルカ如キトアラ
ハ其統一ヲ保持スルコト能ハス國家ノ瓦解ヲ來タスニ至ルヘシ
英國ハ此ノ混合政治ニ屬スルモノナリ然レモ主權ハ決シテ分
割セルモノニアラス英國ハ元ト君主政治ニ漸々貴族カ勢力
ヲ得ルニ及ヒ貴族ノ爲メニ制限セラレ又平民ノ權力ヲ得ルニ
及ヒ平民ノ爲メニ制限セラル、ニ至レリ其外貌ハ君主政治ニ

シテ君主ハ行政及立法ノ最高權ヲ有スルハ固ヨリナリトス此
 クノ如ク英國ニ於テハ主權ハ君主一人ニアリ然レモ其主權ハ
 之レヲ運用セントスルニ臨ミ法律ノ規定ニ依リテ制限ヲ受ク
 君主ハ一身ニ全權ヲ有シ此レヲ運用スルヲ得ルハ君主一人
 ニアリ然レモ此レヲ運用スルニハ法律ノ規定セル機關ノ協賛
 ナ要ス故ニ君主ノ權ハ無限ニ似タレモ之レヲ運用セントスル
 ニハ國家ヲ代表セル機關即チ議會ニ依リ制限セラル、モノナ
 リ

第十二章 國体

國家ノ種類

單立國

國家ノ種類ニ二種アリ一チ單立國ト云ヒ一チ複立國ト云ヒ單
 立國トハ一疆土ニ一國家ノ成立スルモノヲ云ヒ複立國トハ二
 個又ハ二個以上ノ國家ノ聯合ヲ云フ複立國ニ二種アリ甲チ條
 約國及同治國トシ乙チ同盟國及合衆國トス

條約國及同治國

甲、條約國及同治國

數國カ國際公法上或ル共同ノ目的ヲ達センガ爲メニ盟約セル
 時ハ之ヲ條約國ト云ヒ同一ノ君主ガ全時ニ二個國又二個國以
 上ヲ統御セル時ハ之ヲ同治國ト云フ

同治國ノ二種

一君同治

一君共戴

同治國ニ二種アリ第一チ一君同治國ト云ヒ第二チ一君共戴國
 ト云フ一君同治國トハ婚姻又ハ繼承法等ニ依リ偶然數國ノ聯
 合スルモノヲ云フ例ヘバ千七百十四年ヨリ千八百三十七年ニ
 至ルマデ英吉利王ハ又ハノールバル王ヲ兼子タリ然レモハノール
 バルニ於テハ男子ニアラザレバ君位ヲ踐ムト能ハザルノ制ナ
 ルチ以テビクトリア女王ノ即位ニ及ビハノールバルハ英國ノ王
 チ戴カザルニ至レリ其他シエレスウイグホルスタイン及デネ
 マルクノ如キ又ハニーデルランド及ルクセンブルグノ如キモ
 皆ナ一君同治國ナリトス一君共戴トハ一時ノ聯合ニアラズ永

遠數國が慣習又ハ條約又ハ優等國君主ノ意ニ依リ全一ノ君主ヲ奉戴スルヲ云フ例ハバシエウエーデン及ノルウエーゲン、シエレスウイグ及ホルスタイン、奧太利及匈牙利ノ如キハ皆ナ一君共戴國ナリトス

複立國

複立國ハ其一君同治タルト一君共戴タルトヲ論ゼズ君主其人ノ關係ヨリ起ルモノニシテ各國家ハ依然各國家トシテ存シ數ヶ國相合シテ新タニ一聯邦ヲ生スルモノニアラズ時トシテハ數國共同ノ機關アリ殊ニ一君共戴國ニ於テ其例ニ乏シカラズ然レモ此レ中央政府ノ機關ニアラズ各邦ノ機關ニシテ別々ニ各邦ノ事務ヲ執ルモノナリ例ハバ奧匈帝國ニ於テ帝國外務大臣兵務大臣大藏大臣及奧太利匈牙利二國ノ議會ヨリ派出セル議員ヨリナレル議會ノ如キハ各邦ノ機關ニシテ決シテ中央政府ノ爲メニ設ケタル機關ト云フヲ得ザルモノナリ

同盟國及合衆國

乙、同盟國及合衆國

數國相聯合シテ一聯邦ヲ成ス時ハ其聯邦ハ各邦ヲ統御スルノ權ヲ有ス然レモ其權タルヤ憲法ニ依リ制限セラレ各邦ハ幾分ノ獨立ヲ有シ自國ノ憲法ニ從ヒ其機關ヲ運用ス各邦ヲ統治スルノ權ハ其一國ノミニ屬スルヲアリ例ハ土耳其其ノ其屬國ニ於ケルカ如キハ主從ノ關係ヲ有シ土耳其政府獨リ各屬國ヲ統御ス此レニ反シテ其主權ヲ各邦ヨリ成レル聯邦ニ委任スルヲアリ此ノ場合ニ於テハ其第一種ヲ同盟國ト云ヒ第二種ヲ合衆國ト云フ同盟國ニ於テハ中央政府ノ權其同盟各國ノ上ニ及ヒ合衆國ニ於テハ其權直ニ各邦ノ人民ニ及ブモノトス

同盟國ノ各邦ハ聯邦ノ一部

同盟國ニ於テハ各邦ハ其聯邦ノ一部分ニシテ中央政府ノ權ハ直接ニ各邦ノ臣民ニ及ブベキモノニアラズ必ズヤ各邦ノ主權

ヲ經由シテ各國臣民ニ及ブベキモノトス中央政府ハ外交ノ權
 ナ有ス然レモ此レ國際間ニ行ハルベキモノニシテ其臣民ニ對
 シテ効力ヲ生ズベキモノニアラス又直ニ臣民ノ權利義務ニ關
 係アル行政ノ權ヲ有セザルハ勿論ナリトス中央政府ハ各邦間
 ノ爭訟ヲ決スルヲ得レモ其臣民間ノ爭訟ヲ決スルノ權ナキモ
 ノトス

各邦ハ中央政府ヲ仰グヲ以テ主權ヲ有セズ然レモ其臣民ニ對
 シテハ無制限ノ主權ヲ有ス故ニ各邦ハ一方ニ於テ制限ヲ受ク
 ト雖モ一方ニ於テハ無制限ナリト云フヲ得ベシ

合衆國ニ於テハ中央政府ノ權直チニ其臣民ニ及ブモノトス故
 ニ同盟國及合衆國ノ差ハ其統治權ノ運用如何ニ存ス千八百六
 十六年前ノ獨乙千七百八十七年前ノ北亞米利加及千八百四十
 八年前ノ瑞西ト現今ノ獨乙帝國北亞米利加合衆國及瑞西トナ

同盟國ト合衆
 國ノ差異

比較スル時ハ其區別ノ顯然タル一曰瞭然ナリトス以前ノ獨乙
 北亞米利加瑞西ハ同盟國ナリ現今ノ獨乙帝國北亞米利加合衆
 國及瑞西ハ合衆國ナリ蓋シ同盟國ニ於テハ主權ハ只ニ其各邦
 ノ上ニ及ブノミナリト雖モ合衆國ニ於テハ主權直ニ其臣民ノ
 上ニ及ブモノトス此レ此ノ二種ノ國體ヲ區別スル標準ナリ
 合衆國中央政府ハ外務ノ權ヲ有スルノミナラズ又司法立法內
 務行政ニ關スル權ヲ併有ス

聯邦及各邦ハ二個ノ獨立國ノ如ク相對峙スルモノニアラズ聯
 邦ハ之ヲ人身ニ譬フレバ頭部ノ如ク各邦ハ四肢ノ如ク之ヲ一
 國ニ譬フレバ一國ト市町村ノ如ク郡府縣ノ如シ故ニ中央政府
 ハ各邦ニ對シテ有効ナル法律ヲ制定スルノ權ヲ有シ各邦ハ之
 ナ實行スルノ義務アルトハ猶ホ府縣等ノ其國家ニ於ケルガ如
 シ又中央政府ニ必要ナル軍兵ヲ供シ金錢ヲ融出スルノ義務ア

リ
 中央政府及各邦共ニ無制限ノ行爲ヲ有セズ中央政府及各邦ノ
 權限ヲ擴張セントスルニハ中央政府ノ決議又ハ各邦ノ同意ニ
 依ルベキモノトス現今大抵其權限ヲ擴張スルニハ中央政府ノ
 議決ニ依リ合衆國ノ憲法ヲ改正シテ以テ之レヲ行フモノナリ
 獨乙ニ於テハ憲法ノ改正ハ帝國立法府ニ屬シ瑞西ニ於テハ各
 邦及公民ニ屬シ北米合衆國ニ於テハ議會及各邦ニ屬ス此レ北
 米合衆國及瑞西ニ於テハ國家ノ最上高權ヲ代表セル機關ニシ
 テ中央政府及各邦共ニ之レニ服從セザル可シザルモノトス
 同盟國ニ於ケルガ如ク合衆國ニ於テモ各邦ハ主權ヲ有セザル
 ハ勿論ニシテ中央政府ニ服從スヘキモノトス即チ各邦ノ主權
 ハ中央政府ノ爲メニ破壞セザレタルモノナリ然レモ又中央政
 府ノ權限ヲ増減スルニ當リ各邦ノ同意ヲ要スルヲ以テ中央政

合衆國成立ノ
方法

府ト雖モ無限ノ權力ヲ有スルニアラス故ニ此ノ一事ヲ除クノ
 外ハ主權ハ全ク中央政府ニ有スルモノナリ
 合衆國ハ其成立ノ方法種々アリ一國力他國ヲ併吞シテ一ツノ
 合衆國ヲナスコトアリ又ハ數個ノ獨立國相同盟シテ一ツノ合衆
 國ヲナスコトアリ此ノ場合ニ於テハ合衆國各邦ノ合意ニ依リ憲
 法ヲ制定シ中央政府ニ委任シタル權利ヲ除クノ外ハ依然其他
 ノ權利ヲ有スルモノナリ

第四編

第十三章 立憲君主國ノ機關

第一、君主

君主ハ憲法ニ依リ國家ノ統治權ヲ總攬シ敢テ他ノ機關ノ委

立憲君主國ノ
機關
君主

托ヲ受ケテ權力ヲ有スルニアラスシテ行政及立法ノ淵源タリ

議會

第二、議會

議會ハ制限的ノ性質ヲ有シ君主ノ有セル立法ノ大權ニ協賛ス而シテ議會ノ權利ハ憲法及其他ノ法律明文ヲ以テ附與スル所ノ範圍ニ止マリ敢テ無限ノ權ヲ有スルモノニアラス然レモ又議會モ君主ノ如ク憲法ニ依リ權利ヲ有シ他ノ機關ノ委託ニヨルモノニアラス其議員ハ人民ノ撰舉ニ依リ又ハ君主ノ勅命ニ依リ又ハ憲法ノ規定ニ依リテ命セラル、モノナリ

國家ノ官衙

第三、國家ノ官衙

國家ノ官衙ハ他ノ機關ノ命ヲ受ケ一定ノ權限内ニ運動スルモノナリ故ニ官衙ノ僚員タル官吏ハ他ノ機關ノ命ヲ受ケ運

地方自治体

第四、地方自治体

動スルモノニシテ其性質大ニ君主及議會ト異ナル所アリ然レモ國家ノ名ニ依リ國家ヲ代表シテ主權ノ運用ヲ掌ルヲ以テ亦國家ノ機關ノ一部ニ屬ス
地方分權ノ行ハル、諸國ニ於テハ國家ハ地方自治体ヲシテ主權ノ運用ヲ掌ラシム其權力ハ一定ノ範圍内ニ在リテ又其地方ノミニ制限セラル、モノナリ

第十四章 君主

君主ノ性質

君主ハ國家ノ上ニ位スルモノニアラス國家ノ中ニ位スルモノニシテ國家ノ統治者ナリ國家ノ機關ナリ而シテ國家最高ノ地位ヲ有シ敢テ他ノ委託ヲ受ケズシテ國家ノ大權ヲ掌握ス然レモ其大權タルヤ制限ナキニアラス之レヲ運用セントスルニハ憲法ニ依リ一ハ一定ノ形式ニ遵ヒ一ハ議會ノ協賛ヲ經ルヲ要

君主ノ立法權

ス

第一、君主ハ立法ノ長ナリ

甲、君主ハ立法ノ長ナルヲ以テ議會ヲ召集シ其開會、閉會、停會及解散ヲ命ズ故ニ君主ノ命ナクシテ議會自ラ開會シタル時ハ其會期中ニナシタル議事ノ無効ナルハ論ヲ俟タザルナリ

乙、君主ハ立法ノ長ナルヲ以テ議會ノ議決シタル法案ニ裁可ヲ與フルノ權ヲ有ス若シ君主ノ裁可ナキ時ハ其法案ハ法律ノ効力ヲ生セズ英國ニ於テハアン女王ノ朝千七百七年ニ蘇國ニ民兵ヲ置クノ案ニ裁可ヲ拒ミシ以來未タ曾テ此ノ權ヲ實行シタルヲナシ蓋シ英國ニ於テハ上下兩院ノ議決シタル法案ニ裁可ヲ拒ム片ハ其輔弼ノ任ニ居ル内閣大臣ハ必ズ議會ノ信任ヲ失ヒ久シク其地位ヲ保ツヲ得ザルニ至ルベシ

君主ノ行政權

第二、君主ハ行政ノ長ナリ

甲、君主ハ行政ノ長ナルヲ以テ法律ノ公布及其執行ヲ命ズ法律裁可ノ權ハ立法ニ屬シ法律ノ公布及其執行ハ行政ノ權ニ屬ス大抵各國公布ハ官報ニ掲載スルヲ以テ方式トシ特別ノ規定ナキ以上ハ其當日ヨリ効力ヲ有スルモノナリ

乙、君主ハ行政ノ長ナルヲ以テ國務大臣ヲ任免スルノ權ヲ有ス英國ニ於テハ大臣ハ君主ノ任免スル所ナリト雖モ只ニ名義ニ止マリ其實權ハ議會ニ在リ蓋シ大臣ハ議會ニ於テ多數ヲ得タル黨派ノ中ヨリナルモノナルヲ以テ恰モ議會ノ委員ノ如ク若シ議會ニ於テ信任ヲ失セバ直ニ更迭セザル可ラズ故ニ任免及奉職ノ期モ共ニ議會ノ權力ニアリト云フベシ

君主ノ司法權

第三、君主ハ司法ノ長ナリ

英國ニ於テハ君主ハ正義ノ淵源ニシテ裁判宣告ハ君主ノ名ヲ以テシ又大赦特赦ヲ與フルノ權利ヲ有ス

君主ハ名譽ノ淵源

第四、君主ハ榮譽ノ淵源ナリ
君主ハ榮譽ノ淵源ナルヲ以テ爵位勳章及其ノ他ノ榮典ヲ授與ス

君主ハ外交ノ長

第五、君主ハ外交ノ長ナリ

外交ノ事ハ強硬、迅速、秘密、熟慮ノ四ヲ要ス故ニ一人ヲシテ其全權ヲ握ラシムルヲ必要トス是レ各國外交ノ權ヲ君主ノ專權ニ委任スル所以ナリ我國ニ於テハ君主ハ諸般ノ條約ヲ締結スルノ權ヲ有シ少シモ制限スル所ナシ然レモ普國ニ於テハ其條約ニ依リ自國ニ負擔ヲ來シ又ハ臣民ニ新タニ義務ヲ負ハシムル時ハ議會ノ承諾ヲ要ス英國ニ於テハ宣戰媾和ヲ布告スルニハ總內閣員ノ全意ヲ經テ樞密院令ヲ以テス而シテ戰爭ノ經費ハ議會ニ其理由ヲ通知シ承諾ヲ得ザル可ラズ故ニ若シ議會カ其經費ヲ承諾セザル時ハ君主ノ宣戰ノ權ハ有名無實タルニ過ギズ

君主ハ陸海軍ノ元帥

第六、君主ハ陸海軍ノ元帥ナリ

英國ニ於テハ君主ハ陸海軍及民兵ノ大元帥ニシテ海陸軍ヲ徵集シ民兵ヲ召募スルヲ得

君主ノ神聖不可侵

第七、君主ニ過失ナシ

英國ノ法語ニ君主ハ惡ヲナスヲ得ズトハ此ノ法理ヲ認メタルモノナリ君主ハ國家最高ノ地位ヲ占メ而シテ他ニ服從セズ又神聖ニシテ侵ス可ラズ侵ス可ラズトハ君主ノ身体ハ特別ナル刑法ノ規定ヲ以テ保護セラレ而シテ何人ヨリモ責問ヲ受ケザルノ謂ナリ君主ハ法廷ニ召喚セラレ、コナク其行爲ノ何タルヲ論ゼズ凡テ無責任ナリト雖モ財產上ノ爭訟ニ至ツテハ裁判所ノ審判ヲ受クルモノトス然レモ此ノ場合ニ於テハ君主ニ對シテ爭訟ヲ起スモノニアラズ唯帝室費又ハ帝室財產ニ對シテ起訴スルモノトス

君主ノ行爲ハ副署者之ガ責ニ任ズ

君主ハ政務ニ關シテ無責任ナルヲ以テ代リテ其責ニ任スルモノアリ即チ副署ハ其責任ノ在ル所ヲ明ニスルモノニシテ副署シタル大臣ハ其責ニ任スベキモノナリ故ニ副署ナキモノハ無効トス然レモ爵位勳章ノ授與ニ關スル勅命君主ノ純粹ナル私信國會ヘノ教書ノ類又ハ軍隊ノ指揮指令ニハ之レヲ要ヒザルヲ通常トス然レモ獨乙諸邦ニ於テハ亦大臣ノ任命及大赦等ノ場合ニ副署ヲ要スルヲアリ或公法學者ハ此ノ説ヲ駁シテ曰ク大臣ハ君主ニ代リテ責ヲ負フモノニアラズ若シ大臣ガ君主ニ代リテ責任ヲ負フトスルトキハ自ラ君主ノ無責任ナラザルヲ認メタルモノト云ハザル可ラズ是ヲ以テ君主ノ無責任ト大臣ノ責任トハ全ク關係ナキモノニシテ法理上政治上ハイザ知ラズ大臣ノ責任ハ議會ニ對スルモノニアラズ又一般人民ニ對スルモノニアラズ只君主ニ

君主ノ内廷費

對シテ職務上ノ責任ヲ負フモノナリト今暫ク附記シテ以テ參考ニ供ス

第八、君主ハ帝室費ヲ受ク

古昔君主ノ財産ト國家ノ財産トヲ區別スルヲナク君主ノ財産ハ即チ國家ノ財産ナリ君主ノ負債ハ即チ國家ノ負債ナリ然レモ現今ハ判然此ノ二ノ區別ヲナシ國庫ノ中ヨリ別ニ帝室費ヲ支出スルニ至レリ立憲國ニ於テハ法律ヲ以テ永遠其常額ヲ定ムルヲアリ或ハ君主ノ即位ノ時ニ當リ在位中毎年國庫ヨリ支出スベキ帝室費ヲ定ムルヲアリ英國ニ於テハジヨルジ第三世ノ時始メテ帝室費ヲ設ケ其後君主ノ即位アル毎ニ新ク其額ヲ定ムルヲ慣例トス

第十五章 君位繼承法

君位ノ繼承法

君位繼承法ハ之ヲ一定シテ永ク亂萌ヲ絶チ後裔ヲシテ依ル所

ヲ知ラシメ決シテ依違左右スルヲ得セシム可ラズ古來羅馬等諸國一定ノ制度ナカリシト雖モ獨乙ニ於テハ既ニ獨リ其法完備セシト云フ我朝ニ於テモ古來一定ノ制度ナカリシヲ以テ君位繼承ノ爭亂尠キニアラズ仁德ノ遙讓ヲ始メトシ壬申保元建武等ノ亂其階ヲ皆此ニ開カサルハナシ方今歐洲各國此ニ見ル所アリ憲法或ハ特別法ヲ以テ君位相承ノ次序ヲ定メ之レヲ明徴ニシ疑義ナカラシム

君位ノ連續

君位ハ連續トシテ一系ノ如ク萬世一日モ曠クヌ可ラズ英國ノ法語ニ君主ハ死セズトハ蓋シ此法理ヲ認メタルモノニシテ先帝崩スル片ハ皇嗣踐祚シ其間一髮ヲ容レズ子々孫々相傳ヘテ斷絶スルヲナキハ猶一體ノ如シ

男系長子相續

各國君位繼承ノ法相異ルト雖モ父子相傳ヘ長ヲ先キニシ幼ヲ後ニシ男ヲ先ニシ女ヲ後ニスルニ至テハ相全シ今ブルンチユ

佛國

ノ一ニ依リ之レヲ三種ニ區別ス

甲、佛國ノ法ハ羅馬ト同フシテ女子ハ必ズ王位ヲ繼グヲ能ハズ瑞典、比耳義及ヒ普魯西等亦然リ

獨乙

乙、獨乙各國ノ法ニテハ皇族中男子ノ位ヲ繼グベキ者アレバ女子決シテ繼位スルヲ得ズ但シ男子全ク缺クルルハ血統最モ近キ女子位ヲ繼グヲ得然レモ其子ニ至リテハ又男ヲ先キニシ女ヲ後ニスル仍ホ前法ノ如シ荷蘭國亦然リ

英國

丙、英國ノ法ハ本族中男子缺クレバタトヒ支族中ニ男子アリト雖モ之ヲ措キ必ズ本族中ノ女子ヲ立ツ西班牙、葡萄牙亦然リ今之ガ一例ヲ示サンニ英國ニ於テハ千八百二十年シヨルジ第三世崩シ第一子シヨルジ第四世次テ立チ千八百三十年崩シテ子ナシ第二子ウイリアム第四世次テ立チ千八百三十七年崩テ子ナシ次テ君位繼承ノ次ニ當タル者ハ第三子ケント侯ナレモ

千八百二十年已ニ崩ズ故ニ其女ビクトリア位ニ即クニ至レリ
而シテカンバーランド侯ハ終ニ位ニ即クヲ得ズシテハノーバ
ル王トナレリ

ビヨルム第三世(千八百二十年)

ビヨルム第四世(千八百三十年) ウィリアム第四世(千八百三十七年) ケント侯(千八百二十年) カンバーランド侯(千八百十七年死去) ビクトリア(千八百三十七年即位)

承位ノ資

適婚ノ所出

各國君位ヲ繼承スルニハ通常左ノ如キ資格ヲ備ヘザル可ラズ
第一、君位ヲ繼承スルニハ正當ノ婚姻ノ所出ナルベシ故ニ私生
ノ子又ハ養子ノ如キハ相續ノ權ヲ有セス又同族婚ノ所出ナラ
サル可ラス例ヘハ君主カ平民ト婚姻シタル時ハ其子ハ相續ノ
權ヲ有セザルモノトス

能力具備

第二、封建亂離ノ世ニ在ツテハ君主ト雖モ兵馬ノ間ニ馳驅セザ
ル可ラサルヲ以テ白痴瘋癲身体不具ノ如キハ君位ヲ踐ムヲ得

奉教

サリシト雖モ現今各國ノ法律ニ依レハ攝政ヲ置キテ萬機ヲ執
ラシムルヲ以テ如何ナルモノト雖モ即位ノ權ヲ有スルヲ妨ケ
サルナリ

第三、或ル邦ニ於テハ君位ヲ踐ムヘキモノハ一定ノ宗教ヲ奉セ
サル可ラス例ヘハ英國ニ於テハ君主ハ必ス「プロテスタント」教
ヲ奉セサル可ラス故ニ「カソリック」教ヲ奉スル者及此ノ教派ヲ
奉スルモノト相婚シタルモノハ決シテ君位ヲ繼グコトヲ得サル
モノトス

第十六章 攝政

攝政ヲ置クニ
キ場合

君主幼沖ノ時

攝政ハ君主太政ヲ親ラスル能ハザル時又ハ皇位ヲ繼承スル者
ノ未タ定マラサル時ニ之ヲ置クモノトス
第一、君主太政ヲ親ラスル能ハサル時
甲、君主未タ成年ニ達セサル時、君主ノ成年ハ通常十八年又ハ二

十一年トス我國ニ於テハ十八年ヲ以テ成年トス君主ノ成年ハ通常私法上ノ成年ヨリ短カクス而シテ成年ニ達シタル時ハ攝政ヲ廢シ君主政ヲ親ラス爲政ノ術ハ實ニ容易ナリナルニ君主ノ成年ハ尋常私法上ノ成年ヨリ短カクシ幼弱ノ君主ヲノ政ヲ親ラセシムル所以ノモノハ已ムヲ得サルニ出ルモノナリ蓋シ久シク攝政ヲ置キ國家ノ危害ヲ生センヨリハ幼弱ノ君主ノ太政ヲ親ラスルニ如カサルニ由ルナリ

乙、君主久シキニ亘ルノ故障ニ依リ太政ヲ親ラスル能ハサル時例ヘハ疾病不具不在等ノ場合ヲ云フ

第二、皇位ヲ繼承スルモノ、未タ定マラザル時例ヘハ皇后懷妊中君主崩御スルカ又ハ皇太子ノ妃皇太孫ノ妃等懷妊中皇太子皇太孫等崩御スル時ハ皇子降誕シテ始メテ儲嗣定マルベキモノナルヲ以テ暫時攝政ヲ置クコトアリ

繼承者未定ノ時

君主ノ未タ成年ニ達セザル時ニ攝政ヲ置クハ無論ニシテ少シモ疑似ナシ然レモ君主久シキニ亘ルノ故障ニ依リ果シテ太政ヲ親ラスル能ハザルヤ否ヤハ或ハ事疑似ニ涉ルコトアルヲ免レズ故ニ議會又ハ父親及議會又ハ國家最高官衙及議會ノ議決ヲ經ルヲ以テ要件トナス我國ニテハ皇族會議及樞密顧問ノ議ヲ經テ攝政ヲ置ク

攝政タルベキ人

攝政タルベキモノハ特別法ヲ以テ定ムベキモノトス大抵攝政タルベキモノハ君主ノ成年最近親トス君主ノ幼冲ナル時ハ配偶ナキ皇太后又ハ太皇太后ガ攝政タルコトアリ我國皇室典範ニ依レバ攝政ハ成年ニ達シタル皇太子又ハ皇太孫之レニ任ス皇太子皇太孫アラザルカ又ハ未タ成年ニ達セザル時ハ左ノ順序ニ依リ攝政ニ任ズ

第一、親王及王

第二、皇后

第三、皇太后

第四、太皇太后

第五、内親王及女王

攝政ハ無責任

攝政ハ憲法及皇室典範ヲ改正スル能ハザルノ外君主ニ屬スル凡テノ特權ヲ有ス故ニ君主ト全シク其政務ニ對シテハ無責任ニシテ副署大臣其責ニ任スルモノトス又攝政ヲ彈劾シ又ハ懲戒處分ニ處スルヲ許サルハ論ヲ俟タズ然レモ一私人トシテノ行爲殊ニ民法上ノ行爲ニ對シテハ其責ヲ免レザルナリ

攝政ハ之ヲ置キタル原因ノ消滅又ハ君主ノ死去ト共ニ終ルベキモノトス攝政ハ君主ノ成年ニ達シタル時ハ之ヲ廢スベキハ勿論ナレモ其他ノ原因ニシテ尙ホ攝政ノ必要ナルヤ否ヤ疑似ニ涉ルルハ亦攝政ヲ置キタル時ト全權ノ議決ヲ要ス攝政ハ君

皇族ノ地位

主ノ最近親ノ成年ニ達シタルガ爲メニ之レニ其任ヲ讓ルベキノ義務ナシ然レモ我國皇室典範ニ依レバ只皇太子及皇孫ニ對シテノ外其任ヲ讓ルベキノ義務ナシト規定セリ

第十七章 皇族

皇族ハ國家ニ於テ尋常一般ノ人民ト異リタル地位ヲ有シ大統ヲ承ケ又ハ攝政トナルノ權ヲ有ス其身体ハ特別刑法ノ保護スル所ニシテ又上院ノ議員トナリ樞密院等ノ議員トナルノ權ヲ有ス又諸般ノ經費ハ特ニ國庫ヨリ支出ヲ受クルモノアリ又ハ土地山林等ヲ以テ之レニ充ツルモノアリ各國其制度ヲ一ニセズ皇族ノ婚姻住所等ハ特別法律ヲ以テ制限ヲ受クルコトアリ我國刑法ニ於テハ百十六條ヨリ以下百二十條ヲ以テ皇族ノ身体ニ特別ノ保護ヲ與ヘ又皇室典範ニ於テ皇族相互ノ民事ノ訴訟ハ勅旨ニ依リ宮内省ニ於テ裁判員ヲ命ジ裁判セシメ勅裁ヲ經テ

之レヲ執行シ又人民ヨリ皇族ニ對スル民事ノ訴訟ハ東京控訴院ニ於テ之レヲ裁判ス但シ皇族ハ代人ヲ以テ訴訟ニ當ラシメ自ラ訟廷ニ出ツルニ及バザル等ノ規定アリ

第五編

第十八章 法律上議會ノ地位

歐洲各國ニ於テ議會ノ制ハ已ニ中世ノ頃ヨリ行ハレ租税ノ徵收、法律ノ制定、廢止、其他重要ナル政務ニ參預シタリ然レモ現今立憲諸國ニ行ハル、議會トハ大ニ其性質ヲ殊ニシ各民族ノ代表者ニシテ一個ノ會社的ノ性質ヲ有シ其委囑訓示ヲ受ケ君主ト一致契約ノ國政ニ參預セリ故ニ議會ハ自治体ノ機關ニシテ國家ノ機關ニアラズ其後中央集權ノ制強盛ナルニ及ビ民族ノ制

中世歐洲諸國ノ議會

議員ハ人民ノ代理ニアラズ

議會ノ參預スル事項

破レ議會モ亦大ニ其性質ヲ變シテ國家ノ機關トナリ國民一般ヲ代表スルニ至レリ現今各國ノ憲法ニ依レバ議員タルモノハ國民一般ヲ代表スルモノナリト雖モ其撰舉區ノ委囑訓示ヲ受クルヲ許サズ故ニ政治上議員ハ人民ノ代議ナリト云フヲ得ルト雖モ法理上人民ノ代議ニ非ズ人民ノ撰舉ニナレル國家ノ機關タルニ過ギス苟モ代議ト云フ時ハ代理法ノ原則ニ從ヒ代理者タル議員ハ委任者タル撰舉人ノ指囑ヲ受ケ事ニ從ハザル可ラザルナリ以テ議員ノ代理者ニアラザル所以ヲ知ルベシ議會ノ參預スル事項其數頗ル多シ北米合衆國憲法ニ於テハ最も嚴格ニ三權分立ノ主義ヲ採リタルヲ以テ議會ノ權ハ只ニ立法ニ止マルト雖モ英普等各國ニ於テハ議會ハ立法ニ對替スル而已ナラズ其他行政事務ノ執行ニ參預スルヲ多シ例ヘバ普魯西ニ於テハ議會ハ豫算ノ議決、官有財産拂下、公債募集其他或ル

國家ノ契約及國際上ノ條約等ニ協賛ヲ與ヘ又行政全部ヲ監督スルノ權ヲ有シ從テ大臣彈劾ノ權ヲ有ス

議會ハ上奏及建議ノ權ヲ有シ一ハ行政ノ監督ヲナシ一ハ政府ニ法律ノ制定廢止ヲ促スヲ得我國憲法ニ依レバ建議ハ議會ノ議決ヲ經テ政府ニ提出シ上奏モ亦全ク議會ノ議決ヲ經テ天皇ニ捧呈ス又請願ヲ受クルノ權ヲ有ス請願ハ一己人又ハ法律ノ認メタル法人ヨリ議員ノ紹介ニ依リ議院ニ提出スルモノトス其他議員ハ必要ナル場合ニハ政府ニ質問シ辨明ヲ求ムルヲ得亦皆行政ヲ監視スルノ方法ニ出ツルモノナリ

英國ニ於テハ議會ハ上下兩院及君主ヲ包含スルモノニ即チ主權ノ用ノ在ル所ニシテ佛米普等ノ憲法ト其趣ヲ異ニスル所ナリ又米國ニ於テ其權ハ只ニ立法ニ止マリ英國ノ議會ニ於ケルガ如キ無限ノ權ヲ有セズ普及日本等ニ於テハ議會ハ君主ノ

各國現時ノ議

統治權ヲ行フニ當リ翼賛スル所ノ制限的ノ機關ニシテ君主ト相對峙シテ主權ヲ共有スルモノニアラズ其權利モ亦憲法ノ明文ヲ以テ規定スル所ニ限り敢テ無限ノ權ヲ有スルモノニアラズ然レモ其職ハ只ニ消極的ニアラズシテ臣民ノ權利ヲ保護スルニアリ之レヲ詳言セバ議會ハ只ニ拒否ノ權ヲ有スルノミナラズ國家ノ政務ヲ行フニ當リ翼賛スルモノトス而シテ其翼賛タルヤ議決ニ止マリ其ノ施行ハ政府ニ在リテ命令ノ權又ハ發行ノ權ヲ有セズ

獨乙各邦ノ憲法ニ依レバ立法豫算議定或ル國際條約等國家重要ノ事件ニハ君主及議會ノ協同合意ヲ要ス故ニ屢々二者ノ間ニ葛藤ヲ生ジ調和ヲ破ルコトアリ憲法ニ記載セル條文ノ解釋ニ付キ意見ヲ異ニスル時ハ法院ノ裁決ニ附スルヲ以テ未タ深ク憂フルニ足ラズト雖モ一朝政府ト議會ト意見ヲ異ニシ重要ナ

ル法律案又ハ豫算ノ議決ニ至ラザルコトアル時ハ國家ノ命脈頓ニ靜止スルモノト云フベシ

此ノ危害ヲ避ケンガ爲メニ英國及英國ニ模倣セル一二ノ憲法ニ於テハ政黨内閣ヲ組織シタリ君主ハ議院ニ於テ多數ヲ占メタル黨派ノ首領ヲシテ内閣ヲ組織セシムルヲ以テ議院ノ委員ナルガ如ク能ク政府及議會ノ間ニ調和ヲ保ツテ得然レモ實際此ノ制ヲ採ラントスル時ハ最モ政府ニ熟練セル黨派ヲ要シ逃カニ他國ノ模倣シ得ベキニアラズ却テ其害ヲ受ケ其利ヲ收ムル能ハザルナリ

第十九章 議會ノ性質

議會ノ性質

議會ハ法律上如何ナル性質ヲ有スルモノナリヤ今左ニ四個ノ學說ヲ列舉シテ以テ之レヲ辨セン

第一、議會ハ國民ヲ代表スル國家ノ機關ナリ

國民ヲ代表スル國家ノ機關

第二、議會ハ其性質國民ヲ代表スルモノニアラズ

第三、議會ハ國民ヲ代表スルト雖モ國家ノ機關ニアラズ

第四、議會ハ君主ノ政務執行ノ機關ナリ

第一説ハ歴史的ノ理由ニ依レル説ニシテ英國ニ於テハ其初メ議員ハ各民族ノ代議士ニシテ委囑訓示ヲ受ケテ國家ノ政務ニ參預シタリ然レモ現今英、普、日等議員ハ他人ノ指囑牽制ヲ受ケルヲ許サズ全ク自己ノ意志ニ從ヒ評決スルモノナリ

國民ノ代表者ニアラズ

第二説ハ今世行ハル、民法ノ法理ヲ適用シ議會ノ性質ヲ説明スルモノナリ抑モ撰舉ハ臣民ノ義務ナリ撰舉人ハ投票紙ヲ投函シタル瞬時ニ其義務ヲ盡シタルモノニモ委囑訓示ヲナスヲ得ザル以上ハ少シモ撰舉人ト被撰舉人トノ關係ヲ止メズ故ニ議員ハ人民ノ代表者ニアラズ

第三説ニ依レバ臣民ハ統御ノ客体ナリ故ニ客体ヲ代表スルモ

國民ヲ代表ス
ルモ國家ノ機
關ニアラス

君主ノ政務執
行ノ機關

ノハ國家ノ機關ト云フヲ得ズト云ニアリ然レモ此說ハ北米合衆國及佛蘭西等ノ共和國ニ適用ス可シズ何トナレバ共和國ニ於テハ主權人民ニ在リテ人民ハ統御ノ客体ニアジザレバナリ第四說ハ最モ穩當ナル說ト云フベシ議會ハ他ノ官府ト異ナシズ至ク君主ノ便宜ノ爲メニ設ケタル機關ナリ然レモ其性質他ノ立法官ニモアラズ何トナレバ法律ヲ布クノ權利ナシ又行政官ニモアラズ何トナレバ第三者ニ對シテ有効ナル處分ヲナスヲ得サルヲ以テナリ

第二十章 二院制ノ利害

立法議會ヲニニ分チ其協全一致ヲ要スルノ制ハ理論ニ基キテ起リタルモノニアラス英國ニ於テ知ラズ知ラズ慣習上斯ノ如キ制ヲ馴致シ各國ノ模倣スル所トナリタルナリ米國ニ於テ憲法ノ草案ヲ議スルニ當リ其一院制ヲ探ルベキヤ又ハ二院制ヲ

英國ノ二局議
院ハ慣習ニ成
ル

探ルベキヤニ付キ大ニ紛議ヲ生ジ遂ニ二院制ヲ探ルトニ決シタリト云フ蓋シ英國ニ於テハ古來貴族及高僧ヨリナレル議會アリ其後平民モ亦權力ヲ得テ代議士ヲ出スニ及ビ暫時ハ平民ノ代議士モ貴族高僧ト共ニ國政ヲ議シタリト雖モ互ニ利害痛痒ヲ異ニスルヲ以テ千三百七十七年ノ頃ハ貴族及高僧ハ平民ノ代議士ト分離シテ議席ヲ共ニセサルニ至レリ之レヲ二院制ノ權輿トス

方今歐洲各國大抵二院制ヲ採ラザルハナシ獨乙各邦ノ如キモ或ル小邦ヲ除クノ外悉ク二院制ナリトス然レモ獨乙帝國議會ハ一院制ナリ蓋シ中央政府タル共議院ハ各月ノ委員ヨリナレル集合体ナルヲ以テ帝國議會ヲニニ分ツハ蛇足ヲ添フルニ過ギサルヲ以テナリ

理論上議院ハ一院ヨリ多カルベク二院ヨリ多カル可ラズ若シ

二局以上ノ議院ノ弊

三院ヲ設クル時ハ其實害ニ勝テ數フ可ラズ一院ナル時ハ專斷ニ陥リ易キハ勿論ニシテ三院ナル時ハ三黨ノ樹立スルガ如ク最弱黨ハ裁決權ヲ有シ常ニ勝ヲ制スルニ至ルベシ

若シ二院共ニ全任期間全撰舉人ヨリ撰舉セラレタル議員ヲ以テ成ル時ハ全一院ノ二種ノ委員ニ等シカルベシ故ニ可成其任期及撰舉人ヲ異ニシ一ハ改進ノ性ヲ代表シ一ハ保守ノ性ヲ代表シ相掣肘セシメ過激ノ改革ヲ防止スルニ注意セザルベカクズ

一局及二局議院論ノ得失
二院ノ害

今項ヲ分チ左ニ一院制及二院制ノ利害ヲ列舉セン

第一、二院制ナル時ハ往々少數ノ議論ガ多數ノ議論ヲ壓スルコトアリ例ヘバ二會中ノ一會ニテ全會一致ヲ以テ可決シタルコトモ他會ニ於テ一票ノ多數ヲ以テ其事ヲ否決スルニ至ルベシ

第二、或人曰ク國家ノ意志ハ唯一ナルベシ故ニ今二院共ニ全一

二院ノ利

ノ意志ヲ表彰スルモノトナスルハ其一院ハ無用ニシテ二院各異リタル意志ヲ表彰スルモノトナスルハ國家ノ意志消滅スルニ至ルベシ故ニ二院ヲ設クルハ不用ニ屬スト云フベシト

第三、二院ニ分ツルハ互ニ確執ヲ生シ必要ノ改革ヲ妨グ甲院ハ或ル議案ヲ提出シ此レヲ可決シタリトスルモ乙院ノ是非ヲ論ゼス其勢力ヲ示サンガ爲メニ反對ノ地位ニ立ツニ至ルベシ又穩カニ之レヲ可決スルルハ其氣力ナキニ似タルヲ以テ必ズ之レヲ可決スルヲ欲セズ

第四、一院制ヲ採ルルハ一時ノ情ニ制セラレ急激ノ改革ヲナシ易シ然レモ二院制ヲ採ルルハ討論ノ急決ニ快ラザルノ利アリ

第五、一院制ヲ採ル時ハ專斷ニ陥ルノ憂アリ今一人ニ權力ヲ委任スルルハ之ヲ濫用シ易シ議會ニ於ケルモ亦然リ米佛ノ如ク議會ヲシテ立法ノ全權ヲ握ラシムル時ハ其專斷ノ弊恐ルベキ

モノアリ

第二十一章 兩院ノ關係

二院制ノ行ハル、國ニ於テハ議會ノ議決ハ兩院ノ協同一致ヲ要ス然レモ議員權任ノ監查事務規則紀律警察其他内部ノ整理ニ必要ナル諸規則ハ各院ノ規定ニ任ズ又兩院各別ニ請願ヲ受ケ上奏建議ヲナスコトヲ得

二院ノ關係

兩院ハ議席ヲ別ニス兩院會同ハ甚ク希ニシテ開會式又ハ閉會式君主及攝政ノ憲法宣稱ノ場合攝政ヲ撰任スル等ノ場合ニ限ルモノトス

兩院ノ權ハ均一ニシテ互ニ輕重ナシ只豫算及財政案ニ至リテハ下院ノ權上院ヨリ重シ蓋シ英普等ノ各國ニ於テハ豫算及財政案ハ前ニ下院ニ提出スヘキモノニシテ上院ハ豫算ノ全体ヲ可否スルノ權ヲ有シ逐條ノ修正ヲ許サス我國ニ於テハ豫算ハ

立憲君主國ノ
上院組織

前ニ衆議院ニ提出スヘキモノナレモ特別ノ規定ナキヲ以テ財政案ノ提出ハ兩院何レヲ前ニスルモ妨ケナク又貴族院ハ豫算案修正ノ權ヲ有スト解セサル可ラス

兩院共ニ一致スルニ非ラサレハ議會ノ議決ニアラス若シ兩院一致セサルハ英吉利及我國ニ於テハ兩院ヨリ若干名ノ委員ヲ選舉シ協議會ヲ開キ調停ヲ試ムルヲ得

第二十二章 上院ノ組織

上院ハ又貴族院ト云ヒ第一院ト云ヒ元老院ト云フ其組織ハ各國異同アリ然レモ立憲君主國ニ於テハ上院議員ハ人民一般選舉ニ基クモノニアラスシテ概テ左ノ議員ヨリナル

第一、世襲議員

第二、勅撰ニ係ル終身議員

第三、市府、大學、組合及多額納稅者ノ選舉又ハ薦名ニ係ル議員

共和國ノ上院
組織

第四、高僧又ハ國家樞要ノ位地ヲ占ムル官吏
之レニ反シテ共和國ニ於テハ上下兩院ノ議員ハ人民一般ノ撰
舉ニ基クモノナリ然レモ下院ハ直接選舉ノ制ヲ用ヒ上院ハ複
選ヲ用ユ蓋シ老練實着ノ士ヲ得ンガ爲メナリ

英國上院ノ組
織

甲、英國上院ノ組織

英國上院ハ純粹ノ貴族院ナリ時ニ依リ議員ノ數同ジカラスト
雖モ大抵五百名以上トス上院議員トナルベキモノハ左ノ如シ
(千八百八十二年)

- 第一、皇族 六名
- 第二、大僧正 二名
- 第三、公爵 二拾一名
- 第四、侯爵 十九名
- 第五、伯爵 百拾七名

普國上院ノ組
織

- 第六、子爵 二拾六名
- 第七、男爵 二百五拾七名
- 第八、僧正 二拾四名
- 第九、蘇國代表貴族 拾六名
- 第十、愛國代表貴族 二拾八名

乙、普國上院ノ組織

上院ハ國王ノ勅命ヲ以テ構成セラレタルモノニシテ其議員ハ
成年以上ノ親王、國王ノ勅任ニ係ル世襲議員及終身議員ヨリナ
ル、上院議員ニ任セラルベキモノハ普漏西國民ニシテ普漏西國
ニ住居シ年齡三十年以上ニシテ名譽ヲ全フセシモノニ限ル
世襲議員タルモノハ「ホーヘンツォルレルン」侯族、舊士族ノ家長、千
八百四十七年「ヘルレンクローリ」貴紳議會ニ召集セラレタル侯
伯、子爵アルモノ、及特命ヲ以テ此權ヲ與ヘラレタルモノニ限ル

普國上院ニ終身議員トシテ名權ヲ有スルモノ

終身議員ニ任ゼラルベキモノハ普國四大内廷官オーベルブルグラーフ、オーベルマルシヤール、ランドホーフマイステル、カンツレル、特ニ國王ノ信任スルモノ、及薦名サレタルモノニ限ル

薦名權ヲ有スルモノハ左ノ如シ

第一、ブランデンブルグ、メルク、セブルグ、及ナウムブルグノ僧門貴族

第二、各州伯族組合

第三、廣大ナル土地所有者ノ組合

第四、久襲堅固ナル土地所有者ノ組合

第五、大學校

第六、大都府

丙、日本帝國上院ノ組織

第一、皇族

第二、公侯爵

第三、伯子男爵各其ノ同爵中ヨリ選舉セラレタル者

第四、國家ニ勲勞アリ又ハ學識アルモノヨリ特ニ勲任セラレタル者

第五、各府縣ニ於テ土地或ハ工業商業ニ付多額ノ直接間稅ヲ納ムル者ノ中ヨリ一人ヲ互選シテ勲任セラレタル者

米佛等ノ共和國ニ放テハ上院ハ人民一般ノ複選ニ係ル議員ヨリ成ル而シテ其改選任期年齢ハ下院ト全ジカラス

丁、佛國上院ノ組織

佛上院ハ縣及植民地ヨリ撰舉スル所ノ代議士ヲ以テ組織ス其代議士ハ各縣ノ首府及植民地ノ首府ニ集會スル撰舉會ノ撰舉ニ係ルモノニシテ撰舉會ハ左ノ各員ヨリ組成スルモノトス

佛國上院ノ組織

米國上院ノ組織

第一、下院ノ代議士、第二、縣會議員、第三、郡會議員、第四、各町村ノ町村會ニ於テ其町村ノ撰舉權ヲ有スルモノ、中ヨリ一名ツマ撰舉シタル委員

上院議員タル者ハ年齡四十歳以上ニシテ其任期ハ九年トシ毎三年ニ三分ノ一ヲ改撰ス

戊、米國上院ノ組織

米國合衆國ノ上院ハ各邦ノ立法議會ヨリ撰舉シタル議員ヨリナル、各邦ノ立法議會ハ二院ヨリ成ルヲ以テ二院會合シテ撰舉ヲ行フカ又ハ二院各別ニ撰舉ヲ行フカハ中央政府ノ定ムル所ニアラズシテ各邦ノ隨意ニ任ス各邦ハ其人口及廣狹ニ關セズ二名ノ上院議員ヲ出スノ權利ヲ有ス故ニ上院議員ハ人民ノ復選ニ係ルモノト等シ

上院議員タルモノハ左ノ資格ヲ要ス

第一、年齡三十歳以上

第二、九年以上合衆國ニ入籍シタルヲ

第三、撰舉ノ時ニ其邦ノ人民タルヲ

其任期ハ六年ニシテ二年毎ニ三分ノ一ヲ改撰ス

第二十三章 下院ノ組織

下院ハ又衆議院ト云ヒ第二院ト云ヒ代議院ト云フ其議員ハ人口ニ應ジ各地方ニ配賦シ人民ノ公選ニ係ルモノニシテ其員數ノ如キハ各國相同シカラズ千八百八十年ノ調査ニ依ルニ英國ニ於テハ六百五十二名佛國ニ於テハ五百八十四名普國ニ於テハ四百三十三名獨乙帝國ニ於テハ三百七拾九名北米合衆國ニ於テハ三百三拾三名トス

選舉ノ法各國相同シカラズ今左ニ其種類ヲ列舉セン

甲、一名投票、連名投票

選舉法ノ種類
投票ノ單記及
連記

一名投票

(一) 一名投票トハ一撰舉區ヨリ一名ノ議員ヲ撰出スルヲ云フ我
 國ニ於テハ一名投票ヲ以テ通則トシ連名投票ヲ以テ例外トス
 例ヘバ東京府ニ於テハ麹町區麻布區赤坂區ヲ以テ一撰舉區ト
 ナシ議員一名ヲ撰出セシム故ニ一名投票ナリ然レモ又例外ナ
 キニアラズ例ヘバ長崎縣ニ於テハ長崎郡西彼杵郡ヲ以テ一撰
 舉區トナシ議員二名ヲ撰出セシム英國ニ於テハ千八百八十五
 年以來一名投票ノ制ヲ採ルニ至レリ然レモ人口五萬以上十六
 萬五千以下ノ市府ニ於テハ二名十六萬五千以上五萬人ヲ加フ
 ル毎ニ一名ヲ増加シ連名投票ヲ用ユ獨乙ニ於テハ議員ノ數ヲ
 各聯邦ニ分賦シ各聯邦ハ之レヲ各撰舉區ニ分賦シ各撰舉區ヨ
 リ議員一名ヲ撰出ス

連名投票

(二) 連名投票トハ一撰舉區ヨリ撰出スル二名又ハ二名以上ノ議
 員ヲ各撰舉人が一投票紙ニ連名シテ投票スルヲ云フ例ヘバ佛

普ノ如キハ此ノ制ヲ用ユ

一名投票連名投票共ニ得失ナキ能ハズ乞フ左ニ之レヲ辨セン
 例ヘバ茲ニ一撰舉區アリ五名ノ議員ノ撰出スルニ當リ其撰舉
 區ニ於テ改進黨四十名自由黨三十名アリトセンニ改進黨ハ各
 甲乙丙丁戊ノ五名ヲ連名投票シ自由黨ハイ、ロ、ハ、ニ、ホノ五名ヲ
 連名投票スル時ハ甲乙丙丁戊ハ各四十票ヲ得イ、ロ、ハ、ニ、ホハ各
 三十票ヲ得ベシ故ニ三十票ニ對スル四十票ニシテ改進黨ノ全
 勝ニ歸シ自由黨ハ全ク其撰舉ニ預ルヲ得ザルニ等シカルベシ
 今此ノ撰舉區ヲ細分シテ五區トナシ一名投票トナス時ハ改進黨
 黨ノ四十名自由黨ノ三十名モ彼此混淆各區ニ配分セラレ改進黨
 黨ノ多數ヲ占メ自由黨ノ小數ヲ占ムル區モアリ又自由黨ノ多
 數ヲ占メ改進黨ノ小數ヲ占ムル區モアリテ多數ノ黨派ナシテ
 獨リ其勢力ヲ專ラニセシメズシテ小數ノ黨派ヲ代表スルヲ

得ベシ

以上述ヘタルガ如ク一名投票ハ多數ノ黨派ガ小數ノ黨派ヲ抑
 歴スルノ弊ヲ防ゲテ得ベシト雖モ又一方ヨリ見ル時ハ一名投
 票ニ伴隨スル弊ナキニアラズ一名投票ナル時ハ其撰舉區ハ細
 小ナルヲ以テ勢ヒ撰舉人被撰舉人ノ關係密ナリザルヲ得ズ爲
 メニ撰舉人タルモノハ多少牽制ヲ受ケ自由ニ其好ム所ノモノ
 ヲ撰舉スルヲ得ズ又被撰舉人タルモノモ委囑訓示ヲ受ケテ國
 家全般ノ利ヲ圖ル能ハザルノ傾キヲ生ズルノ恐アリ

撰舉ノ直接間
接

乙、直接撰舉法、間接撰舉法、又ハ複選ト云フ

(一)直接撰舉法トハ撰舉權ヲ有スルモノガ直接ニ議員ヲ撰舉ス
 ルヲ云フ英米佛及我國ニ於テハ直接撰舉法ヲ用ユ
 (二)間接撰舉法トハ撰舉權ヲ有スルモノガ先ツ撰舉人ヲ撰舉シ
 其撰舉人ノ投票ニ依リ代議士ヲ撰舉スルヲ云フ此ノ法ハ老練

實着ノ士ヲ撰出スルニ利アリ米佛等上院議員ヲ撰出スルニハ
 間接撰舉法ヲ用ユト雖モ下院議員ノ撰舉ニ此レヲ用ユルハ其
 タ稀ニシテ獨普二國ノミナリトス今左ニ其撰舉ノ方法ヲ述ベ
 ン

普國院下議員
ノ撰舉

普國下院議員ノ撰舉ハ間接法ヲ用ヒ二級ニ分テ之レヲ行フ
 卽チ先ツ撰舉人ヲ撰舉シ原撰舉次ニ此撰舉人ヲシテ代議士ヲ
 撰舉セシム撰舉ヲ行フ爲メニ法律ヲ以テ撰舉地及撰舉區ト確
 定シ各撰舉區ヲ更ニ細別シテ原撰舉區トス各原撰舉區ハ人口
 七百五十乃至千七百四十九ヲ有スベシ原撰舉ハ三級撰舉ノ法
 ヲ用ユ此制ハ一原撰舉區内ノ原撰舉人ヲ其國庫ニ納ムル直税
 ノ多額ニ應シテ三級ニ區分シ各級ノ直税額ハ三級ノ直税總額
 ノ三分之一ニ當ルヲ度トス最多ノ直税ヲ納ムル人口ヲ第一級ニ
 入レ最少ノ直税ヲ納ムル人々及至ク納税セザル人々ヲ第三級

ニ入レ其中間ニ在ル人々ヲ第二級トス而シテ人口二百五十ニ付キ一ノ撰舉人ヲ撰ブベキ定規ナルニ依リ之レヲ各級ニ均シク配當ス撰舉人ノ數若シ三ヲ以テ全除ス可ラザルハ其殘數ニナレバ之レヲ第一級ハ第二級ニ配當シ殘數一ナレバ之レヲ第二級ニ入ル

丙、公開撰舉法、秘密撰舉法

(一)公開撰舉法トハ其撰舉人及被撰舉人ノ姓名ヲ投票紙ニ記入シ撰舉官吏及他ノ官吏ヲモ之レヲ知ルコトヲ得ルノ方法ナリ現今公開撰舉法ヲ用ユルハ甚タ稀ニシテ普ノミ獨リ此制ヲ採ル

(二)秘密撰舉法トハ撰舉人ガ撰舉官吏ヨリ投票紙ヲ受取リ其撰舉セントスル人ノ姓名ヲ記入シ之レヲ封シテ投票函ニ投ゼシメ他人ヲシテ誰ヲ撰舉シタルカヲ知ラシメザルノ法ナリ英國ニ於テハ撰舉官ヨリ候補者ノ姓名ヲ列記セル投票紙ヲ受取リ

撰舉會ノ公開ト秘密

其好ム所ノ人ノ姓名ノ上ニ記號ヲ附シ此レヲ封ジテ撰舉官ニ出スモノトス又獨乙帝國ニ於テハ投票ハ白紙ヲ用キ外標ナク之レヲ析テ外面ヨリ讀ミ得ベカシム撰舉ヲナス毎ニ書記ハ撰舉名簿ニアル所ノ撰舉人ノ名ニ記號ヲ附ス各撰舉人ハ其投票ヲ撰舉局長ニ渡シ其面前ニ於テ之レヲ投票函ニ藏ムルモノトス

公開秘密共ニ得失ナキニアラズ公開法ニ依レバ其撰舉人被撰人ノ關係等ヨリシテ他人ノ牽制ヲ受ケズシテ自由ニ投票スルヲ得ズ故ニ現今多クハ秘密投票ヲ用ユ然レモ又代理投票ノ弊アリ

丁、普通撰舉法、制限撰舉法

(一)普通撰舉法トハ其國ノ人民ニシテ完全ナル民權公權ヲ有スル丁年男子ハ悉ク撰舉スル權利ヲ有スルヲ云フ千八百四十八

撰舉資格ノ制限ト無制限

年佛ニテ此ノ制ヲ採リシヨリ各國ノ模倣スル所トナレリ
 (三)制限撰舉法トハ一定ノ資格ヲ有スルニアラザレバ撰舉權又
 ハ被撰舉權ヲ與ヘザルチ云フ例ヘバ民權年齡財產身分等ニ制
 限ヲ置クモノナリ普國ニ於テハ下院議員ノ撰舉ニハ三級法ヲ
 用ユルチ以テ最下級ハ普通撰舉ナリト雖モ上級ハ制限撰舉ナ
 リ

第二十四章 議會ノ會期

會議ノ二種

常會及臨時會

會議ニ二種アリ一チ常會トシ一チ臨時會トス常會ハ每年之レ
 チ召集シ臨時會ハ臨時緊急ノ必要アル場合ニ於テ之レチ召集
 ス我國ニ於テハ常會ノ會期ヲ三箇月トシ必要アル場合ニ於テ
 ハ勅命ヲ以テ之レチ延長ス而シテ臨時會ノ會期ハ勅命ヲ以テ
 定ムルモノトス各國臨時會ヲ召集スルハ君主ノ權ニアリト雖
 モ又一定ノ人ニ一定ノ時ニ臨時會ヲ召集スルノ義務ヲ負シム

停會

開會召集

ルヲアリ例ヘバ普國憲法第五十六條ニ依レバ君主未タ成年ニ
 達セズ若クハ久キニ且ルノ故障ニ由リ大政ヲ親ラスル能ハザ
 ル時ハ最近ナル支親ノ成年ナルモノ攝政ノ事ヲ行フ此ノ時ハ
 其ノ人必ズ速ニ兩院ヲ召集シ兩院會合シテ攝政ヲ設クルノ必
 要ナルヲ宣告セシム又全第五十七條ニ依レバ若シ成年ノ支
 親アルヲナク及法律ヲ以テ豫定シタル者ナキ時ハ國相會ハ必
 ズ兩院ヲ召集シ兩院會合シテ一ノ攝政ヲ撰バシム
 君主ハ議會ノ停會ヲ命ズ停會ハ即チ會期ノ中斷ナリ故ニ停會
 中ハ委員會及部會ノ如キモ亦開會スルチ得ズ停會ハ通常一定
 ノ期限ニ止マルモノトス故ニ其經過後ハ議事ヲ繼續スルチ得
 停會ニ於テハ議長委員部局ノ如キ議院ノ組織少シモ變更セズ
 前會ノ議事ヲ繼續ス然レモ閉會ヲ命ゼシレタル時ハ勅命ヲ以
 テ再ビ之レチ召集シ議院ノ組織ヲ一變シ議案建議請願等ノ議

停會ヲ命スル
君主權ノ制限

決ニ至ラザルモノハ後會ニ繼續スルヲ許サズ之レヲ稱シテ會期ノ不繼續ト云フ英普獨米各國ハ不繼續ノ主義ヲ探ルト雖モ獨リ佛ハ繼續ノ主義ヲ深リ委員ハ閉會中ト雖モ事務ヲ執リ議案等ノ議決ニ至ラザルモノモ廢毀セシレタルモノト見做サズシテ後會ニ繼續ス又代議院ノ議決ヲ經テ中途閉會ヲ命ゼラルト雖モ國老院ハ仍之ヲ繼續シテ議決スルヲ得或ル憲法ニ依レバ君主ハ停會ノ權ニ付キ制限ヲ受ケ議會ノ承諾ナクシテ一定ノ期限ヲ經過シ又ハ全會期中一度以上ノ停會ヲ命ズルヲ得ズ普國ニ於テハ議會ノ承諾ナクシテ停會三十日ヲ超ユルヲ得ズ又白耳義憲法ニ依レバ君主ハ兩院ノ承諾ナクシテ停會一個月ノ期ヲ越ヘ及ビ一會期ニ兩次ノ停會ヲ命スルヲ得ズ閉會ニ關シテハ君主ノ權ニ制限アルヲアリ制限ナキヲアリ各國其制ヲ全フセズ普國ニ於テハ豫算ノ議決ノ如キ必要ナル事務ヲ終

解散

リタル時ハ閉會ヲ命スルヲ得白耳義ニテハ一會期ヲ四十日以上ト定メ其期限ヲ經過シタル時ハ閉會ヲ命スルヲ得我國ノ制モ白耳義ト大同小異アル而已
君主ハ議會ノ解散ヲ命ス解散ヲ命ジタル時ハ改撰ヲ行ハザル可ラズ上院ガ世襲議員及終身議員等ヨリ成ル時ハ通常停會ヲ命シテ解散ヲ行ハズ解散ハ會期ノ終リナリ又解散ヲ命ゼシレザル議院ノ會期ノ終ナリ蓋シ會期ハ兩院ノ會期ニシテ一院ノ會期ニアラザレバナリ解散ノ場合ニハ一定ノ期限内ニ改撰ヲ行ヒ其後一定ノ期限内ニ更ニ議院ヲ召集セザル可ラズ普國ニ於テハ解散ノ日ヨリ六十日間ニ撰舉人ヲ召集シ而シテ九十日以内ニ議會ヲ召集セザル可ラズ我國ニ於テハ衆議院解散ヲ命ゼラレタルトキハ勅命ヲ以テ新ニ議員ヲ撰舉セシメ解散ノ日ヨリ五箇月以内ニ之レヲ召集セザル可ラズ

當選

第二十五章 議員ノ就職及解任

當選人ハ當選ノ承諾ヲナシタル時始メテ議員タルノ資格ヲ得ルモノトス當選人ハ其當選ヲ辭スルト否ヤトハ其人ノ隨意ニシテ當選人ハ一定ノ期限内ニ當選承諾ノ届出ヲ爲サザル可カラズ

資格喪失

議員ノ資格ヲ失フ理由ニアリ第一ハ議會又ハ議院全般ニ關スル理由ニ由リ第二ハ其一人ニ關スル理由ニ由ル

第一、議會又ハ議院全般ニ關スル理由

満任期

甲、任期ノ終リタルヲ

大抵任期ハ七年六年四年又ハ三年トシ議員全体ヲ改撰スルヲアリ又其半数又ハ三分ノ一ヲ改撰スルヲアリ各國其制ヲ一ニセズ大抵任期ハ其當選ノ日ヨリ起算スルモノトス

解散

乙、議會又ハ議院ノ解散ヲ命ゼラレタルヲ

死去

甲、死去

辭職

乙、辭職

丙、議員ニ必要ナル資格ヲ失ヒタルヲ

丁、任官又ハ増給昇等

議院ノ爲ニ除名

戊、議院ノ決議ニ由リ除名セラレ又ハ裁判所ノ宣告ヲ受ケタル時

間接撰舉ノ法ヲ用ユル邦ニ於テハ補欠撰舉ノ場合ニハ舊撰舉人(原撰舉人ニアラズ)ガ選舉シ任期ノ經過又ハ解散ノ場合ニハ新撰舉人カ撰舉スルモノトス

第二十六章 議員ノ地位

議員ノ特權

獨立不羈

請暇

言論自由

懲罰

第一、議員ハ其選舉人ニ對シテハ全ク獨立ナルモノトシテ議員ハ全國人民ノ代表者ニシテ其選舉區ノ人民ノ委囑訓示ヲ受ケズ全ク自己ノ意志ニ從ヒ發言評決スヘキモノナリ

第二、議員ハ議場ニ出席スルノ義務アルモノトス然レモ又請暇ヲ乞フコトヲ得短期ノ請暇ハ議長之レヲ許可シ長期ノ請暇ハ議會又ハ議院ニ於テ之レヲ許可ス

第三、議員ハ言論ノ自由ヲ有ス英吉利ニ於テハ議員ハ議院ニ於テ發言シタル意見及表決ニ付キ責ヲ負フコトナキノ權利ハ權利條款ノ認ムル所ニシテ合衆國憲法千七百九十一年九月佛國憲法及自耳義憲法ノ採ル所ナリ而シテ又獨乙諸國ノ憲法ニモ此ノ制ヲ採リタリ

第四、議員ハ議會又ハ議院ノ懲罰ヲ受クヘキモノトス懲罰ハ議員カ法律又ハ議事規則ニ違ヒ其他議場ノ秩序ヲ紊ル時ニ之レ

逮捕ヲ受ケズ

ヲ行フ或邦ノ憲法ニ依レハ議會又ハ議院ハ對面ヲ汚スヘキ所爲又ハ怠慢等ニ由リ議員ヲ除名スル權ヲ有スルコトアリ英國ニ於テハ他國ニ比スレハ兩院ハ重大ナル懲罰權ヲ有ス其主ナルモノハ譴責禁錮追放トス

第五、議員ハ逮捕ニ關シテ特權ヲ有ス英國ニ於テハ民事犯罪ノ爲メ下院議員ハ會期中及其前後四十日間上院議員ハ會期中及其前後二十日間議ノ會ノ承諾ナクシテ此レヲ逮捕スルヲ許サス古ハ此ノ特權上下兩院議員ノ從僕ニ及ビタリシガジヨージ三世ノ時ヨリ上院議員ノ從僕ノミ此ノ特權ヲ有シ下院議員ノ從僕ハ之ヲ有セサルニ至レリ普國ニ於テハ議員ハ會期中議院ノ承諾ナクシテ刑事犯罪ノ爲メニ之ヲ糾治拘捕スルヲ得ス但シ本日又ハ翌日發見サレタル現行犯ハ此ノ限リニアラズ英佛普米等各國逮捕ニ關シテ議員ニ此ノ特權ヲ與フル所以ノモ

ノハ議員ナルヲ以テ裁判所ノ判決ヲ免ルニアラスシテ只故ラニ議員ヲ罪ニ陥レ以テ其職ヲ行フヲ妨ケントスルノ弊ヲ防カシカ爲メナリ普國ニ於テハ尙此ノ外議院ノ許可ナクシテ負債ノ爲メ拘留スルヲ許サズ又議院ノ要求アルルハ會期中民刑ヲ論ゼス凡ソ糾治拘留皆ナ之ヲ解放ス

第六、會期中ハ議會又ハ議院ノ許諾ナクシテ裁判所ニ召喚セザル、トナシ英國ニ於テハ上下院議員ハ會期中證據人又ハ陪審官タラザルノ權利ヲ有シタリ然レモ現今ハ證據人トナラザルノ權利ヲ廢シ唯陪審官タラザルノ權利ヲ存ス米獨普等ノ各國議員ハ證據人又ハ陪審官タラザルノ權利ヲ有ス普獨ニテハ必要ノ場合ニハ議院ノ許諾ヲ得テ之ヲ裁判所ニ召喚スルヲ得

第七、議員ハ俸給ヲ受ク英國ニ於テハ往昔議員ハ其撰舉區ヨリ日當ヲ受ケタリト雖モチヤーレス第二世以後全ク名譽職トナ

議會ノ承諾ナク法廷ニ召喚セラレズ

俸給ヲ受ク

ルニ至レリ之レニ反シテ佛未米等ノ諸國ニテハ俸給ヲ受ク又之レヲ辭スルヲ許サズ獨乙各邦ノ中ニテハ上院議員ハ俸給ヲ受ケザルトアリ又議會ノ在ル地ニ住スルモノハ日當及旅費ヲ受ケザルトアリ又病氣ヲ除キ欠席ノ場合ニハ日當ヲ受ケザルトアリ各國其規定ヲ異ニス

第二十七章 議會ノ權力

議會ノ權ハ前章既ニ陳述シタル所ヲ以テ明カナルガ如シト雖モ今此ニ之レヲ一項ノ下ニ包羅シ少シク之レヲ辨セン

第一立法協賛ノ權

立法協賛ノ權ハ各國憲法ノ骨子ニシテ議會ノ最大重要ナル權ノ一ナリ今立法協賛ノ權ノ淵源ニ溯ルニ英國ニ於テ十三世紀頃ヨリ國王ハ租稅ノ徵收ヲ要スル毎ニ貴族及各民族ノ代議士ヲ召集シ其議決ニ依リ租稅徵收ノ認可ヲ得タリ又貴族及各民

議會ノ權

立法事業ノ協賛

族ノ代議士ハ租稅徵收認可ヲ與フル毎ニ國王ニ要求スルニ其自家ノ爲メニ好都合ナル法律ノ制定ヲ以テシ漸次國家立法ノ權ニ參與スルニ至レリ

我國ノ制

我國ニ於テハ憲法第五條ニ天皇ハ帝國議會ノ協贊ヲ以テ立法權ヲ行フトアリ普國憲法ニ於テハ第六十二條ニ立法權ハ君主ト議會ト共同シテ之ヲ行フ凡ソ新法ヲ發スルニハ君主ト兩院トノ諧同ヲ欠ク可ラズトアリ我國ニ於テハ天皇ハ國家ノ統治權ヲ總攬シ萬機其震襟ニ出ヅルヲ以テ天皇ハ立法ノ主ニシテ議會ハ立法ノ客タルト明カナリ普國ニ於テハ君主ハ統治權ヲ總攬スルニモ拘ハラズ單ニ憲法ノ文字上ヨリ解スル時ハ立法權ニ關シテハ君主ト議會トノ間ニ主從ノ關係ヲ認メザルガ如シ英國ニ於テハ君主モ亦議會ノ一部ニ屬シ立法權ニ關シテハ君主ト議會トノ間ニ主從ノ關係ナシ

獨逸ノ制

獨逸帝國ハ單立國ニアジズ複合國ナルヲ以テ權力ノ分配モ亦大ニ異ナル所アリ抑獨逸帝國ハ二十五ノ聯邦ヨリナルモノニシテ帝國ノ主權ハ聯邦共議院即チ各國政府ノ委員ヨリナレル議會ニ屬シ共議院ハ恰モ單立國ニ於ケル國家ノ元首ノ如キ地位ヲ有ス故ニ法律ノ裁可モ亦共議院ニ屬ス然レモ君主ト全一ノ地位ヲ有スルニアジズ外國ニ對シテ帝國ヲ代表シ共議院及國會ヲ召集シ又ハ閉會シ帝國法律ヲ公布監視シ官吏ヲ任免黜陟スル等ノ權ハ帝ノ特權ニ屬スルモノナリ

他ノ各國ノ制

法律案ハ米國ヲ除クノ外英佛普各國政府ノ提出ニ係ルコトアリ又ハ議會ノ提出ニ係ルコトアリ其政府ノ提出ニ係ルト議會ノ提出ニ係ルトニ拘ハラズ之レニ裁可ヲ與フルハ國家元首ノ權ニ在リ而シテ凡テ法律ハ議決ニ始マリ裁可ニ成リ公布ヲ經テ始メテ人民遵守ノ義務ヲ生スルモノトス

米國ノ制

財政議定權

豫算ノ議定決
算ノ認可

米國ニ於テハ三權分立ノ主義ニ據ルヲ以テ立法權ハ全ク議會ニ屬シ行政權ハ全ク大統領ニ屬ス故ニ法律案ハ必ズ議會ノミ
ノ提出ニ係ルモノトス故ニ又裁可權或ハ非裁可權ナルモノナ
シ然レモ議案ハ上下兩院ノ議決ヲ經タル后大統領ノ認可ヲ要
ス是レ君主國ニ於ケルガ如キ裁可ノ性質ヲ帶ブルモノニシ
ズ故ニ再議ノ后更ニ可決シタル時ハ大統領ノ不認可ニ拘ハラ
ズ法律トナルモノナリ

第二財政權

甲、毎年豫算ヲ議決シ及決算ヲ監視スルノ權

前項已ニ述べタルガ如ク英國ニ於テ議會ガ立法ニ參預シタル
ハ其初メ國王ノ經費ヲ支辨スルガ爲メニ國王ニ徵稅ノ權ヲ認
可シタルニアリ而シテ漸次ニ國家ノ立法ニ容喙スルニ至レリ
國家一日モ經費ナカル可ラス實ニ財政ハ國家ノ機關ヲシテ運

租稅承諾

轉生活セシムル膏油ニ外ナラズ故ニタトヒ君主ニ何等ノ特權
アリ政府ニ何等ノ特權アリト雖モ財政ノ一点ニ於テ制限サル
、時ハ其特權ヲ運用スル能ハズノ徒ニ虛器ヲ據スルニ過ギズ
是ヲ以テ議會ハ豫算議定ノ全權ヲ握リ行政ノ全部ヲ監視ス第
一毎年豫算議定ノ際ニ當リ國家ノ收支ヲ審査攷定シ表ヲ作り
テ行政官衙ノ依違スベキ標準ヲ示ス第二決算ヲ監視シ行政官
衙ヲ豫算ニ違反セザラシム英國等ニ於テハ宣戰講和ノ權ハ
君主ノ特權ニ屬スルヲ以テ他國ト戰端ヲ開クハ其權内ニ在ル
ガ如シト雖モ其戰ヤ無名ノ師ニシテ國權ノ消長ニ關セズ民福ニ
利害ナク人民ノ贊助ヲ得ズ議會ノ承諾ヲ得サル時ハ其經費ノ
支出ヲ得サルヲ以テ亦有名無實ノ權タルニ過ギズ故ニ君主ハ
宣戰講和ノ權ニ關ノハ財政上議會ニ制限サル、者ト云フベシ
乙、租稅認可ノ權

國債ノ募集負
擔増加ノ協賛

租税ハ國民ノ所得ノ一部ヲ取リテ國家全般ノ費用ニ供スル者
 ニシテ國民一般ノ經濟及其休戚ニ利害ノ關係ヲ及ボスト尠少ニ
 非ズ課税重クメ人民其負擔ニ堪エザル時ハ其弊ヤ國家ノ生産
 ヲ防碍シ從テ國家ノ生力ヲ喪失スルニ至ルベシ故ニ各國租税
 徵收ハ立法ノ手續ヲ以テ之ヲ規定シ頗ル慎重ヲ加フル者トス
 丙、國債ヲ起シ又ハ國庫ノ負擔トナルベキ契約ニ協賛ヲ與フル
 ノ權

租税ハ其ノ之レヲ課シタル當時一般人民ノ負擔トナリ國債ハ
 其元利支拂ノ爲メニ其負擔ヤ延テ後裔ニ及ブ故ニ人民ノ經濟
 ニ利害ノ關係ヲ及ボシ其休戚ニ關スルト租税ト少シモ異ルト
 ナシ故ニ國債ヲ起シ又ハ國庫ノ負擔トナルベキ契約ハ必ス議
 會ノ協賛ヲ經ルヲ要ス

第三、上奏建議質問請願ヲ受クルノ權

上奏、建議、質
問請願

此レ皆行政ヲ監視スルノ方法ナリ上奏トハ議會ガ其意見ヲ君
 主ニ捧呈陳疏スルモノニシテ其事項ハ萬殊ニ亘リ敢テ制限ナ
 シ或ハ行政ノ改良ヲ請求哀願シ或ハ大臣ノ非行ヲ上奏スルノ
 類ナリ建議トハ議會ヨリ意見ヲ大臣ニ呈出スルヲ云フ上奏ト
 建議ノ差ハ上奏ハ君主ニ呈出シ建議ハ大臣ニ呈出スルニ在リ
 我國ニ於テハ上奏ハ文書ヲ以テ捧呈シ又ハ惣代ヲ以テ謁見ヲ
 乞ヒ捧呈スルヲ得建議ハ文章ヲ以テ政府ニ捧呈スルモノトス
 又議會ハ請願ヲ受クルノ權ヲ有ス此レ下情壅塞ノ弊ヲ避ケ勳
 メテ上達ノ途ヲ開カンガ爲メナリ或ハ法律ノ改正制定ヲ要求
 スルトアリ或ハ意見書ヲ呈出スルトアリ

以上列陳シタル上奏ト云ヒ建議ト云ヒ請願ヲ受クルノ權ト云
 ヒ共ニ法律上ノ効力ヲ生ジ得ベキモノニアラズ何トナレバ議
 會ヨリ君主ニ上奏スルモ又ハ議會ヨリ政府ニ建議スルモ君主

又ハ大臣ハ之レヲ採納スルノ義務アルヲナシ又人民ヨリ議會ニ對シ請願スト雖モ議會ハ之レヲ採納シ法律案ヲ起コシ之レヲ議決スルノ義務アルヲナシ

質問トハ議會ガ政府ニ對シ其措置ニ附キ不審疑惑ノ點アルハ說明書ヲ要求スルヲ云フ各國ノ憲法ニ其國家ノ利益ヲ害スル恐アルハ大臣ハ之レヲ拒絕スルヲ得ト規定セリ故ニ必竟ハ如何ナル事ハ辨明シ如何ナルヲハ辨明セザルカハ大臣一己ノ意見ニ存スルモノトス

大臣彈劾

大臣二種ノ責任

政治上ノ責任
司法上ノ責任

第四大臣ノ彈劾

抑大臣ノ責任ニ二種アリ一ハ政治的責任ト云ヒ一ハ司法的責任ト云フ政治的責任トハ大臣タルモノハ國民民福ヲ増進スベキノ責ニ任スルハ勿論ニシテ議會ノ會期中ハ議院ノ質問ニ答ヘ若シ又其措置當ヲ得ザルハ議院ノ辨難攻撃ヲ受クルノ類

英國ノ彈劾制度

チ云ヒタトヒ議院ノ多數ガ大臣ト意見ヲ異ニシ反對ノ地位ニ立ツトアリト雖モ大臣タルモノハ法律上桂冠セザル可シザルノ義務ヲ生セザルモノヲ云フ之レニ反シテ司法的責任トハ法律上ノ効果ヲ生ズルモノニシテ免官又ハ其他ノ責罰アルモノヲ云フ大臣ヲ糾治スルノ法之ヲ彈劾ト云フ彈劾ハ夙ニ英國ニ行ハレ千六百四十一年ヨリ現今ニ至ルマデ彈劾ノ多キト五十四回ニ及ベドモ現今ハ全ク廢滅ニ歸シ百年以來彈劾ヲ行フト二回ニ過ギズト云フ蓋シ往古ニ在リテハ一回行政司法ノ區別判然セズ一回政府ト議會トノ軋轢紛ムトナク議會ガ大臣ヲ抑制スル鞏固ノ方便タリシト雖モ漸次憲法ノ基礎鞏固トナルニ從ヒ疑似ノ爭ヲ生スルト軋轢ク議院内閣ノ制完備スルニ及ビ議院中ニ於テ多數ヲ得タル政黨議員ガ内閣ヲ組織スルヲ以テ恰モ内閣ハ議院ノ委員ノ如ク其間ニ軋轢葛藤ヲ醸生スルト軋轢ク

我國憲法上ニ
彈劾權ナキモ
上奏ノ權アル
ヲ以テ遺憾ナ
シ

能ク調和ヲ保持スルヲ得ルヲ以テ彈劾ノ必要ナク若シ内閣ニ
ノ其措置當ヲ得ズ議會ノ信用ヲ失ヒ質問又ハ不信任ノ投票等
ヲ受クルガ如キコトアラバ内閣ハ直チニ更迭スルヲ以テ事未タ
彈劾ニ至ラズン暇ムヲ通常トス佛普ノ憲法ニ於テモ亦議院ノ
彈劾權ヲ認ムト雖モ其細則ハ別法ヲ以テ規定ストアルノミニ
シテ未ダ其細則ヲ制定セザルヲ以テ其手續等ハ之レヲ知ルニ
由ナシ又未タ彈劾ヲ行ヒタルコトナキヲ以テ其細則制定ノ必要
ヲ見ズ現今彈劾ノ制ノ實際行ハル、ハ只米國アルノミ其他英
普佛彈劾ノ例ヲ見ルコトナシ我國ニ於テハ憲法ニ彈劾ノ權ヲ認
メズ學者往々之レヲ非議スルモノアリト雖モ井蛙ノ見ニシテ
廣ク世界各國ノ憲法ノ實際ヲ知ラザルヨリ生スルノ誤謬タル
ヲ免レズ夫ノ憲法第四十九條ニ規定セル上奏權ノ如キハ充分
ニ大臣ヲ監視抑制シ以テ彈劾權ノ欠ヲ補フニ足ルベシ今左ニ

英米普佛諸國
彈劾制度ノ比
較

英米佛彈劾ノ制ヲ比較對照シテ之レヲ畧陳セン

英米佛等ニ於テハ代議院ガ起訴シテ上院之レヲ判決ス然レモ
普國ニ於テハ上下兩院共ニ起訴ノ權ヲ有シ之レヲ判決スルノ
權ハ別ニ高等裁判所ニ屬ス其犯罪ハ獨リ憲法違反ニ限ラズ其
他ノ非行ヲモ包含スルコトアリ又彈劾ヲ受クルモノハ獨リ大臣
ニ限ラズ其他國家樞要ノ地位ニ在ルモノヲ包含スルコトアリ各
國其規定ナ一ニセズ其責罰ノ種類ハ英佛普各國何等ノ制限ナ
シ之レニ關シテ米國ニ於テハ免職又ハ合衆國ニ於テ名譽利益
信用ノ附着セル官位ニ就クノ權利ヲ剝奪スルニ在リ蓋シ米國
憲法ハ三權分立ノ說ニ據ルヲ以テ立法ノ機關タル國老院ニシ
テ犯罪ヲ判決スルハ司法ノ畛域ヲ侵犯スルモノニ似タリト雖
モ其判決タルヤ政治的判決ニシテ司法的判決ニアラズ故ニ其
責罰ノ種類ヲ免官又ハ就官ノ權利ヲ剝奪スルニ限局シ敢テ司

法上ノ責罰ヲ科セザルモノトス是レ可成的司法及立法ノ交涉ヲ避クルノ精神ニ出ルモノナリ

第六編

第二十八章 立法行政司法ノ區別

國家ノ作用ノ大別

國家ノ作用ヲ大別シテ立法行政司法ト云フ立憲國ニ於テハ各分掌ノ機關アリ立法ノ權ハ君主ニ在リテ議會ノ協贊ヲ經テ之ヲ行ヒ行政ノ權ハ君主行政機關及自治體之ヲ行ヒ司法ハ法廷之ヲ行フ然レモ此クノ如ク分掌整然區別アルモノニアラズ其實際ヲ顧ミレバ立法機關ニシテ體質上行政事務ヲ掌ドルトアリ又行政機關ニシテ體質上立法ノ性質ヲ帯ビタル事務ヲ掌ドルトアリ又法廷ガ行政事務ヲ司トルトアリ行政機關ニシテ司法

モンテスキエ
一氏ノ三權分
立論

事務ヲ執ルトアリ故ニ必竟スルニ立法司法行政ノ區別ハ形式上ノ區別ニシテ體質上ノ區別ニアラズ立法機關ノ行爲ヲ立法ト云ヒ行政機關ノ行爲ヲ行政ト云ヒ裁判所ノ行爲ヲ司法ト云フヨリ他ニ定義シ得ベキ標準タルモノナシ夫ノ司法ハ法律ヲ適用シ行政ハ法律ノ範圍内ニ運動スト云フ説ノ如キハ未タ其區別ヲ明定シ得ベキモノニアラズ何トナレバ行政官ト雖モ夫ノ徵兵令ノ如キハ實際法律ヲ適用スルモノナリ只立法司法行政ノ區別ハ官制上便宜ニ出ツル區別ナリト云フベシ

モンテスキエ一ハ大權分立ノ説ヲ唱ヘテ曰ク英國ニ於テ政治自由ノ存スルハ立法行政司法ノ三權分立シ相交涉セズ彼此箝制スルニ由ルト氏ノ説ハ久シク歐洲諸國ニ傳播シ後ノ政論家多少之レニ潤色ヲ加ヘ氏ヲ祖述スルモノ多シ然レモ現今ハ全ク此ノ謬説ヲ採ラザルニ至レリ蓋シ氏ノ説ハ第一立論ノ基礎

タル英國憲法ニ於テスヲ行ハレズ第二論理ニ反シ第三實際到底行ハレ難キ所ナリ

第二十九章 法律命令ノ關係

如何ナル事ハ法律ヲ以テ定メ如何ナル事ハ命令ヲ以テ定ムルカ如何ナル點マデハ法律ヲ以テ定メ如何ナル點マデハ命令ヲ以テ定ムルカト云フニ其範圍境域漠然トシテ一定ノ限界ヲ見出ス丁頗ル難シ「アレンチ」ノ説ニ據レバ法律ハ通則ヲ定メ命令ハ細則ヲ定ムト云ヘリ然レモ此説タルヤ未タ正鵠ヲ得タルモト云フ可ラズ何トナレバ夫ノ英國ノ私條款ハ鐵道敷設工河開鑿ノ如キ場合ニ於テ公共ノ利益ノ爲メ一己人ノ財産自由ノ權ヲ制限スルモノニ未タ以テ一个ノ通則トナス可ラズ然レモ英國ニ於テハ人民ノ權利ヲ尊重スルヲ以テ毎半議會ノ議決ヲ經テ之レヲ許可スルコトナレリ是ニ依リ之ヲ觀ルルハ

法律ト命令ノ別及其關係

法律必ズシモ通則ニアラズジバントノ説ニ據ルルハ法律ハ人民ノ權利義務ニ關スル規定ニシテ其他ハ悉ク命令ナリト云ヘリ然レモ亦疑似ノ點ナキ能ハズ各國ノ憲法ニ於テ實質上法律命令ノ區域ヲ規定スルモノナク只與國憲法ニ於テ立法ノ範圍ニ屬スル事項ノ種類ヲ規定セルノミ然レモ此ヲ以テ盡ヒリトナス可ラズ故ニ必竟スルニ法律命令ノ間ニ體質上一定ノ限界ナク民權ノ消長ト共ニ伸縮スルモノト云フベシ英國ニ於テハ近世法律ヲ以テ規定スル事項愈増加シ命令ヲ以テ規定スル事項愈減少スルノ傾アリ之レニ反シテ獨逸ニ於テハ法律ヲ以テ規定スルコト少ク命令ヲ以テ規定スルコト多シト云フ以テ法律命令ノ區域ノ一定セザルヲ見ルニ足ルベシ故ニ憲法上法律命令ノ區別ハ只ニ形式上ノ區別ニシテ議會ノ協賛ヲ經タルモノヲ法律ト云ヒ君主ノ意ニ出テ、議會ノ議ヲ經ザルモノヲ命令ト云フニ過

ギズ

憲法モ一種ノ法律

憲法モ亦一種ノ法律ニ外ナラズ只一般ノ法律ト異ル所ハ其改正變更ノ手續及効力如何ニアリ其改正變更ノ手續ハ尋常ノ法律ヨリハ之ヲ難クシ其効力ハ尋常ノ法律ヨリハ超然其上ニ位スルモノニシテ法律ハ憲法ニ違反ス可ラズ又命令ハ法律ニ違反ス可ラズシテ常ニ法律ノ區域内ニ運動スルモノナリ若シ法律ニシテ憲法ニ違反スルハ其効力ナク命令ニシテ法律ニ違反スルハ命令其ノ効力ナシ命令ニハ責任大臣副署シテ其ノ責ヲ負フモノトス又臨時緊急ノ場合ニ際シ法律ヲ破リテ命令ヲ發シタルハ議會ノ事後承諾ヲ要ス

第三十章 命令ノ種類

命令トハ君主又ハ行政機關ヨリ發スル所ノ一般ノ規定ナリ憲法制定以前ニ於テハ法律及命令ノ區別未タ存セズ等シク君主

命令ノ種類

ノ意ナリ然レモ憲法制定セラレテ始メテニノ區別生スルモノトス命令ノ法律ト異ル所ハ命令ハ議會ノ協賛ヲ要セズ法律ハ議會ノ協賛ヲ要スルニ在リ命令ノ種類ハ各國ノ憲法ニヨリ多少ノ異同アリ今左ニ吾日本帝國憲法ヲ基礎トシ他國ノ憲法ヲ參照シ命令ノ種類ヲ列舉シ之レヲ説明セン

緊急命令

第一緊急命令

吾憲法ニハ第八條ニ天皇ハ公共ノ安全ヲ保持シ又ハ其災厄ヲ避クル爲緊急ノ必要ニ由リ帝國議會閉會ノ場合ニ於テ法律ニ代ルベキ勅令ヲ發ス此ノ勅令ハ次ノ會期ニ於テ帝國議會ニ提出スベシ若シ議會ニ於テ承諾セザルハ政府ハ將來ニ向テ其効力ヲ失フヲ公布スベシトアリ此レヲ緊急命令ト云フ緊急命令トハ議會ノ成立セザルハ事後承諾ヲ得ルノ條件ヲ以テ必要ノ場合ニ臨ミ法律ノ範圍ヲ超エテ發スル所ノ命令ナリ緊急

命令ヲ發スルノ權ハ大抵各國ノ憲法ニ明文ヲ以テ國家ノ元首ニ委任ス日本及普魯西等ノ諸國ニ於テハ緊急命令ハ憲法ノ明文ニ認ムル處ニシテ決シテ違憲ノ處置ニアザルナリ之レニ反シテ英國ニ於テハ緊急命令ハ憲法ノ認メザル所ニシテ違憲ノ處置タルヲ免レズ然レモ後日之ヲ議會ニ提出シ責任ノ解除ヲ請フモノトス其解除ヲ請フ所以ノモノハ法律ハ決シテ命令ヲ以テ動カシ得ベキモノニアラス法律ヲ改正スルニハ法律ヲ要スルコトハ立憲國ノ通則ナレトモ事ノ已ムヲ得ザルニ出テ議會ノ議決ヲ經ルニ迫アラザルハ法律ノ重ンズベキハ勿論ナレモ國家ノ危急ニ代フ可ラザル場合ニ臨ミタルヲ以テ議會ニ其理由ヲ通知シ責任ノ解除ヲ請フモノナリ我國ノ緊急命令ニ於テ事後承諾ヲ請フトハ大ニ其法理ヲ殊ニス

緊急命令ハ次ノ會期ニ於テ議會ノ承諾ヲ經サル可シス若シ議

緊急命令ノ三要件

會カ之レニ承諾ヲ與ヘタルハ依然其効力ヲ繼續スルモノトス然レモ若シ其承諾ヲ得ザルトキハ其効力ヲ失フ兩院制ノ國ニ於テハ其一院承諾ヲ與ヘサルハ効力ヲ失フモノナルヲ明カナリ其承諾ヲ得タルトキハ如何ナル効力ヲ生スルヤト云フニ一旦承諾サレタル後ハ法律ト全一ノ効力ヲ有シ此ノ命令ニ背馳スル法律ハ悉ク無効ニ屬スルモノトス然レモ若シ承諾ヲ得ザルトキハ其命令ノ効力ハ將來ニ向テ効力ヲ失フノミニシテ既往ニ溯ルノ効力ヲ有セス故ニ一旦緊急ノ場合ニ臨ミ其命令ヲ以テ處分サレタルトハ有効ニシテタトヒ其命令カ議會ニヨリ承諾サレザル時ト雖モ其効力ニ至テハ少シモ變スルヲナシ是ヲ以テ此ノ命令ノ發セラレタルガ爲メニ効力ヲ失ヒタル法律ハ再ヒ効力ヲ復スルモノナリ

緊急命令ノ要件三アリ第一緊急ノ場合タルヘシ第二議會閉會

緊急ノ場合

ノ時タルヘシ第三其命令ハ憲法ニ違反ス可ラズ第一如何ナル
 場合ヲ緊急ト云フヤ例ヘハ兵亂鎮定ノ爲メ急ニ費用ヲ要シ人
 民ノ負擔ヲ重クスルノ類又ハ流行病撲滅ノ爲メ臨時支出ヲ要
 スル場合ノ類ニシテ其ノ果シテ緊急ナルヤ否ヤヲ判スルハ君
 主ノ獨斷ニアリ議會ノ容喙スヘキニアラス議會ハ只ニ其處置
 ノ將來ニ向テ効力ヲ繼續セシム可キヤ否ヤヲ議決スルニ在リ
 第二緊急ノ處分ヲナスハ勿論議會閉會ノ時タルベク若シ議會
 開會中ナラバ直ニ議會ニ之レヲ提出シ其協賛ヲ得ザル可ラズ
 第三其命令ハ憲法ニ違反ス可ラズ例ヘバ緊急命令ト雖モ憲法
 ノ條章ヲ改正シ又ハ皇室典範ヲ變更スルヲ得ザルガ如シ
 此ニ吾國及普國憲法ノ緊急命令ニ於テ効力ノ異ル所アリ吾國
 ニ於テハ緊急命令ハ獨リ憲法及皇室典範ヲ改正變更スルヲ
 得ズト雖モ普國ニ於テハ然ラズ憲法ノ一部ニ屬セル選舉法裁

吾國ト普國ト
 緊急命令ノ異
 點

執行命令

判所構成法ノ如キハ緊急命令ヲ以テ改正變更スルヲ得ズ故ニ
 吾國ノ緊急命令ハ其區域普國緊急命令ヨリ廣大ニシテ選舉法
 及裁判所構成法等ノ効力ヲ停止スルニ妨ナキモノトス
 我國ニ於テハ若シ議會ノ承諾ヲ得ザルハ政府ハ將來ニ向テ
 其効力ヲ失フヲ公布ス故ニ其効力ハ政府ノ公布ト全時ニ消
 滅スルモノナリ然レモ普國ニ於テハ何等ノ明文ナキヲ以テ政
 府ノ公布ノ有無ニ關セズ承諾ヲ得ザルト全時ニ其効力ヲ失フ
 モノト解スルヲ通常トス

第二執行命令

憲法第九條ニ天皇ハ法律ヲ執行スル爲ニ又ハ公共ノ安寧秩序
 ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ又
 ハ發セシム但シ命令ヲ以テ法律ヲ變更スルヲ得ズトアリ憲
 法ノ此條ニハ二種ノ命令ヲ包含ス甲天皇ハ法律ヲ執行スル爲

自立命令

ニ必要ナル命令ヲ發シ又ハ發セシムトアリ是ヲ執行命令ト云フ執行命令トハ法律ヲ執行スル爲ニ發スル所ノ細則ニシテ英佛獨普各國ノ元首皆執行命令ヲ發スルノ權ヲ有ス此ノ命令ハ君主自ラ發スルヲアリ又ハ大臣ヲシテ發セシムルヲアリ又ハ警視總監等ヲシテ發セシムルヲアリ故ニ發シ又ハ發セシムト云フ然レハ此命令ハ細則ニ過キザルヲ以テ新々ニ臣民ノ權利義務ヲ規定スルコトヲ得ズ只法律ノ範圍内ニ運動スルノミ

第三自立命令

乙公共ノ安寧秩序ヲ保持シ及臣民ノ幸福ヲ増進スル爲ニ必要ナル命令ヲ發シ又ハ發セシム之ヲ自立命令ト云フ自立命令トハ法律ヲ以テ規定セザル臣民ノ權利義務ヲ新々ニ規定スルモノナリ吾國ニ於テハ明文ヲ以テ自立命令ヲ規定スト雖モ普國ニ於テハ君主自立命令ヲ發スル權ヲ有セズスタイン及グナイ

非常處分ヲ要スルコトアル所
以

ストノ如キハ普國ニテモ君主自立命令ヲ發スルノ權ヲ有スト解スレハ全ク誤謬ニ出ルモノナリ英國ニ於テハ植民地等ニテ議會ノ設ケナキ地ニ於テハ樞密院令ヲ以テ自立命令ヲ發ス然レハ内國ニテハ君主ハ少シモ自立命令ヲ發スルノ權ヲ有セズ普國ニ於テハ憲法第四十五條第三項ニ執行命令ヲ規定シ第六十三條ニ緊急命令ヲ規定セルノミ

第三十一章 非常處分

外侮ヲ退ケ内訌ヲ鎮メ禍機ヲ未萌ニ防ガントスルニハ尋常ノ法律ヲ以テ之レニ臨メバ緩慢事ヲ失シ回收ス可ラザルノ大事ヲ釀生スルニ至ルベシ此時ニ當リテハ特別ノ權利ヲ一人ノ手ニ委シ又敏活ノ處分ヲナスガ爲ニ法律ヲ停止スルノ己ムヲ得ザルニ迫ルコトアリ現今憲國ニ於テハカ、ル非常處分ト雖モ可成的法律ニ據ルチ原則トス然レハ事若シ不測ニ出テ緊急止ム

英國ノ制

ヲ得サル片ハ其大臣タルモノハ之ガ責任ヲ負フモノトス我國ノ如キハ憲法第三十一條ニ於テ本章ニ掲ゲタル條規ハ戰時又ハ國家事變ノ場合ニ於テ天皇大權ノ執行ヲ妨グルトナシトノ條文アルヲ以テ非常處分ト雖モ憲法ノ認ムル所ナリ然レモ英國ニ於テハ非常處分ハ違憲タルヲ免レズ故ニ後直ニ之レヲ議會ニ提出シ其責任ノ解除ヲ請求セザル可ラズ

英國ニ於テハ公共ノ安寧ヲ保持センガ爲ニ戰亂等緊急ノ場合ニ於テハ議會ノ議決ヲ以テ人身保護律ヲ停止シ以テ叛亂等ノ嫌疑アル者ニ非常處分ヲ施行ス然レモ決シテ永久ニ人身保護律ヲ停止スルニアラス暫時必要ノ期限内ニ限ルモノトス英蘭ニ於テハ之レヲ停止スルノ場合實ニ希ナリト雖モ愛蘭ニ於テハ屢々之ヲ停止スルトアリ

歐洲諸國ノ制

歐洲大陸諸國ニ於テハ國家緊急ノ場合ニハ戒嚴令ヲ宣告ス戒嚴

令ハ元佛國ノ創始ニ係リ外寇ノ場合ニ限リ宣告シタル者ナリシガ遂ニ内亂ノ場合ニモ適用スルニ至レリ以前ハ佛ニ於テ國家ノ元首之レヲ宣告スルノ權ヲ有シタリシガ千八百七十八年以來法律ヲ以テ之ヲ宣告スルトニ改正シタリ但必要ノ場合ニ限リ大統領ハ參事院ノ意見ヲ聞テ後之ヲ宣告スルヲ得然レモ二日間ニ議會ヲ召集シ之レヲ繼續セシム可キヤ否ヤヲ議セザル可ラズ

普國千八百五十一年ノ法律ハ獨乙全國ニ行ハル、モノニシテ外寇内亂ヲ區別ス外寇ノ場合ニハ指令官又ハ大元帥内亂ノ場合ニハ内閣大臣大緊急ノ場合ニハ獨乙皇帝戒嚴令ヲ宣告ス然レモ後チニ之ヲ議會ニ提出シ其承諾ヲ請ハザル可ラズ

其他我國ノ保安條令英國ノ愛蘭鐵歷令獨乙ノ社會黨ニ對スル條令ノ如キハ各國其例ニ乏シカラズ

第七編

第三十二章 財政

英國財政ノ進歩

英國ノ歴史ニ依レバ財政ハ憲法進歩ノ中軸ナリ蓋シ英國ニ於テハ十三世紀ノ頃ヨリ租税ノ徵收ハ毎ニ貴族及人民ノ代議士ノ認可ヲ要スルヲ以テ慣例トシ國王ヨリ租税ノ要求アル毎ニ法律ノ制定改正等ヲ要求シ人民ガ漸次施政ニ參與スルニ至レリ爾來議會ノ權力消長隆替ナキニアラズト雖モ綿々絶エサルヲ糸ノ如ク革命ノ時財政ニ關シテ特ニ長足ノ進歩ヲナシ以テ今日ニ至レリ其要點ヲ舉グレバ從來租税ハ一時之ヲ認可スルニ過ギザリシガ漸次永久ニ之ヲ認可スルニ至レリ又支出科目ノ流用ヲ許サズ國王ノ歲入ヲ國庫ノ中ニ練入レ年々一定ノ歲入ヲ國王ニ與フル等ニシテ今日各國豫算ノ基礎トナレリ之ニ反シテ歐洲大陸諸國ニ於テハ從來人民ガ租税認可ノ權ヲ

歐洲大陸諸國
財政ノ退歩

有シタリシガ十七世紀ノ頃中央集權ノ制強盛ナルニ及ビ遂ニ其權ヲ失フニ至レリ夫ノ佛國革命ノ時新ニ英國憲法ニ模シ憲法ヲ制定スルニ及ビ財政ノ權ヲ議會ニ歸シ誤テ毎年豫算ノ全部ノ議決ヲ要スル者トセリ一大虛ヲ吠テ萬大實ヲ傳フ是レヨリ歐洲各國憲法ノ模範トスル所トナリ今ニ至リテ尙其弊ヲ受クルモノ勵カラズ全ク英國憲法ヲ誤解シタルノ過ニ坐スルヒノナリ蓋英國ニ於テハ租税ノ大部ハ法律ヲ以テ其額ヲ定メ之ヲ不動部ト稱シ毎年議會ノ議決ヲ要セズ只年々其額ヲ變更スルモノハ所得稅等ノミ故ニ議會ハ毎年豫算ノ全部ヲ議決スルモノニアラズ

第三十三章 豫算

豫算ハ英語ニ之ヲ「バゼット」ト云フ本佛語ノ「ブーゼット」ヨリ轉訛シタルモノニシテ荷囊ノ義ナリ英國ニ於テハ始メ大藏大臣

豫算ノ必要

憲法原理

ガ下院ニ呈出スル勘定書ヲ納ル荷義ヲ呼ンデ「バセリト」ト云ヒ
タリシガ遂ニ勘定書ヲ呼ンテ「バセリト」ト云フニ至リ現今ハ之
ヲ豫算ノ義ニ用ユ

一家ノ財政ヲ整理セント欲セバ一年ノ初ニ豫メ其出納ヲ量リ
以テ冗費ノ途ヲ杜絶セザル可シザルガ如ク財政ノ點ニ於テハ
國家モ亦一家ニ異ナラズ故ニ毎會計年度ノ初ニ當リ其歳出入
ヲ豫定シ行政官衙ヲシテ之レヲ履行セシメザル可シズ然レモ
國家ノ財政ト一家ノ財政トハ又趣ヲ異ニスル所アリ一家ノ財
政ハ入ヲ先ニシ出ヲ後ニス國家ノ財政ハ出ヲ先ニシ入ヲ後ニ
ス蓋シ國家ノ收入ハ多クハ租税ニ依ルヲ以テ其歳出ノ多寡ニ
應シテ之レヲ徴收ス

豫算ハ政府ノ提出スル所ノモノニシテ議會ハ法律ノ結果ニ由
リ又ハ法律上政府ノ義務ニ屬スル歳出ハ之レヲ廢除シ又ハ削

一己ノ理財
ト國家ノ理財
ノ差異

豫算提出者

減スルヲ得ズ只其他ノ歳出ヲ議決シ又ハ之レヲ支辨スル方
法ヲ議決スルノミ是レ豫算ニ關スル大原則ニシテ頗ル明瞭ナ
ル事實ナリトス然ルニ佛國ニ於テハ政府ハ年々議會ノ議決セ
ル豫算ニ依頼スベキモノニシテ又議會ハ全豫算ヲ拒ムノ權ヲ
有スルト云フ主義ヲ採レリ是レ誤レルノ甚シキモノニシテ英
國憲法ノ精神ニ基クモノニアラズ又豫算ハ其形ハ法律ナリト
雖モ實ハ命令ナリ故ニ法律ヲ變更シ得ベキモノニアジズ從テ
法律上政府ノ義務ニ屬スベキ費用ハ之ヲ廢除削減スルヲ得ズ
豫算ノ有無ニ拘ハラズ之レヲ支辨セザル可シズ若シ議會ニシ
テ法律ノ結果ニ依リ又ハ法律上政府ノ義務ニ屬スル歳出ヲ廢
除削減シ又ハ全豫算ヲ拒ムノ權ヲ有スルトスルハ國家ノ壞
滅スルノ權ヲ握ルモノト云フベシ豈此クノ如キノ理アジシヤ
夫ノ米國ニ於テハ千八百七十七年議會ガ陸軍ノ豫算ヲ議決ス

ルヲ怠リタルガ爲三月間兵士ニ給料ヲ拂フヲ得ザリシガ如キハ此レガ最モ著明ナル例ナリトス我帝國憲法ニ於テハ六十七條及七十六條ヲ以テ具サニ此ノ弊ヲ防グモノト云フベシ

第三十四章 法律ト豫算トノ關係

豫算ト法律トノ關係

豫算ハ法律ニテラザル所以

法律ハ必ず議會ノ協賛ヲ要スルモノナレバ議會ノ協賛ヲ要スルモノハ悉ク法律ナリト云フヲ得ズ議會ノ協賛ヲ要スルモノニシテ法律ニアラザルモノアリ豫算是レナリ各國豫算ハ法律ノ形式ヲ備フト雖モ其實法律ニアラズ歐洲各國ノ憲法ニ依レバ豫算ヲ以テ法律ト見做スモノ多ク英國ニ於テモ豫算ハ法律ノ形式ヲ備フ然レモ各國ノ事實上法律ト殊ナル所アリ之ヲ左ニ之ヲ辨セン

歳入豫算ノ不動部及移動部

英國ニ於テハ豫算ト法律トノ關係頗ル明瞭ニシテ議會ガ毎年全豫算ヲ議決スルモノニアラズ只其一小部分ヲ議決スルノミ

歳出豫算中ノ不動部及移動部

而シテ議會ノ議決ヲ要セザル部分ヲ不動部ト稱シ議會ノ議決ヲ要スル部分ヲ移動部ト稱ス不動部ハ地稅印紙稅關稅等ニシテ總歳入ノ七分六ヲ占メ此ヲ變更スルニハ新ニ法律ヲ要シ豫算ヲ以テ直ニ之ヲ變更スルヲ得ズ移動部ハ所得稅及茶ノ關稅等ニシテ總歳入ノ七分一ヲ占ム是レ只ニ歳入ノ不足ヲ補フガ爲ニ徵收スルニ過ギス又歳出中移動部ハ陸海軍ノ費用及行政官衙ノ費用ニシテ豫算ノ大部ヲ占メ毎年議會ノ議決ヲ要ス不動部ハ王室費判事公使ノ俸給國債ノ利子等ニシテ總歳出ノ三分一ヲ占メ毎年議會ノ議決ヲ要セズ此クノ如ク英國ニ於テハ法律ニ依リ定メタル歳出入ハ毎年議會ノ議決ヲ要セズ豫算ハ法律ノ範圍内ニ運動シ豫算ヲ以テ法律ヲ廢スルヲ得ズ歐洲大陸ニ於テ始メテ英國憲法ヲ講ジタルハ佛蘭西ニ在リ當時英憲法ヲ誤解シ豫算ハ毎年議會ノ議決ヲ要シ若シ議會ノ議

佛國ノ豫算議定法

決ナキ片ハ政府ハ一錢タリトモ支出スルヲ得ザルモノトセリ主トシテ此ノ説ヲ唱ヘタルモノハ夫ノ有名ナルベンジヤミン、コンスタン氏ニシテ路易十八世ノ欽定憲法自耳義憲法モ亦此ノ學說ニ據リテ以テ制定セリ後廣ク歐洲各國ニ此説ヲ傳播スルニ至レリ故ニ豫算ハ毎年議會ノ議決ヲ要シ其議決ナキトキハ租稅ヲ徵收シ又ハ支出ナナスヲ得ス法律アリト雖モ法律其効力ヲ失フ獨我憲法ハ其製ニ倣ハズ豫算ヲ以テ行政命令トス

佛ニ於テハ地租窓戶稅人頭稅等ハ毎年其率ヲ變更スト雖モ其他ノ間稅ハ法律ヲ以テ之ヲ定ム支出モ亦法律ヲ以テ定ムルモノアリ又ハ政府ノ義務ニ屬スルモノアリ然リト雖モ議會ニ於テ豫算ヲ議決セザル時ハ租稅ヲ徵收シ又ハ國費ヲ支出スルヲ得ズ故ニ豫算ハ法律ヲ廢スルノ効力ヲ有スルモノト云フベ

普國ノ豫算ニ關スル制

シ近時上下兩院論議シテ遂ニ豫算ヲ以テ法律ヲ廢スルニハ其法律ヲ廢スルヲ明記スベシ直ニ豫算ヲ以テ法律ヲ廢スルヲ得ザルヲニ決シタリト云フ

普國ニ於テモ豫算ノ制ハ英國ノ主義ニ則ラズ自耳義ノ制ヲ模倣シ豫算ハ毎年議會ノ議決ヲ要スルノ制ヲ採レリ故ニ法律ト豫算トノ關係明カナラズ只一ノ例外ヲ設ケ租稅ハ法律ヲ以テ稅率ヲ變更セザル以上ハ舊ニ依リ徵收スト規定セリ學者豫算ヲ以テ法律ヲ廢スルヲ得ズ又法律ニ依レル支出ハ豫算ヲ以テ削減廢除スルヲ得ズト解スルモノ多シ

以上縷述シタルガ加ク各國豫算モ形式上法律ナリ然レモ其間體質上多少ノ差アリ故ニ豫算ヲ以テ直ニ法律ト見做スヲ得ザルヤ明ナリ是ヲ以テ主トシテシバント氏等ハ豫算ハ法律ニアラズ命令ナリ豫算ハ歲出入ヲ定ムル所ノ法律ノ効力ヲ動カ

豫算ト法律ハ形式ヲ同フスルモ體質ヲ異ニス

シ得ベキモノニアラズ法律ニ依レル歳出入及法律ノ結果ニ依レル歳出入ハ議會ノ議決ノ有無ニ關セズ政府ハ之ヲ徵收シ又ハ支出スルヲ得ルノ説ヲ唱フルニ至レリ

第三十五章 豫算ノ効力

豫算ハ次年ノ歳出入ニ關スル見込書ナリ故ニ其之ヲ法律ト見做スト否トニ拘ハジズ行政官衙ハ之ニ準據シ濫ニ豫算ノ範圍外ニ奔逸シ又ハ各科目ヲ彼此流用スルヲ許サズ然レモ猶人身ニ疾病アルガ如ク國家亦水火取亂ノ憂ナキ能ハズ故ニ時トシテ臨時ノ支出ヲ要スルヲアリ各國明文ヲ以テ臨時支出ヲ許ス者アリ許サ、ル者アリ其制ナ一ニセズ米國憲法ニ依レバ豫算超過及豫算外ノ支出ヲ許サズ而シテ少シモ此レニハ例外ヲ設ケズ佛國ニ於テハ千八百七十九年ノ法律ニ依リ避ク可ラザル支出ハ議會ノ承諾ヲ要ス議會閉會ノ場合ニハ閣議ヲ經テ參事院

豫算ノ効力

財政上ノ緊急命令

豫算ノ効力年

調定ノ勅令ヲ以テ補充ノ支出ヲナスヲ得但シ次ノ會期ニ於テ十四日以内ニ提出シ其事後承諾ヲ請ハザル可ラズ然レモ豫算ニ設ケザル項目ヲ新ニ設クルヲ許サズ普國ニ於テハ憲法第四百四條ヲ以テ豫算超過及豫算外ノ支出ヲ認メ議會ノ事後承諾ヲ要スト規定セリ我帝國憲法ニハ第六十四條ニ豫算超過及豫算外ノ支出ヲ認メ又第七十條ニ財政ノ緊急命令ヲ認ム財政ノ緊急命令ハ米佛獨各國ニナキ所ニシテ我帝國憲法ノ特有ニ屬ス

豫算ノ効力ハ各國一年ヲ以テ限リトス然レモ獨逸ノ或小邦中ニハ二年三年又ハ四年間繼續スルモノアリ英國ニ於テハ豫算ハ毎年議會ノ議決ヲ要スト雖モ法律既定ノ部分ハ議決ヲ要セス

第三十六章 各國豫算案及其他財政案ノ比較

豫算案調製者

英佛普各國豫算案ハ必ず政府ヨリ提出スルモノトス獨リ米國ニ於テハ三權分立ノ説ニ據リ豫算ト雖モ政府ヨリ之ヲ提出スルヲ許サズ蓋シ米國ニ於テハ政府ヲシテ其歲出入ヲ報告セシメ下院ハ之ニ依リ豫算ヲ調製スルモノトス

下院ニ提出

各國豫算ハ先ヅ下院ニ提出スルヲ通則トス米ニ於テハ下院ガ豫算案ヲ調製スルノ權ヲ有スルヲ以テ各國ト其原則ヲ全フス各國獨リ豫算案ノミナラス凡テ財政案ハ政府ノ提出ニ係ルト雖モ各國ニ於テハ然ラズ豫算ノミ政府ノ提出スル所ノモノトス是レ各國ノ制ト大ニ異ル所ナリ

英國ノ財政上
消極的修正

英國ニ於テハ凡テ財政案ニ關シテ議會ハ之ニ消極的ノ修正ヲ爲ス權ヲ有スルノミ故ニ更ニ支出ノ項目ヲ設ケ又ハ増加ノ發議ヲナスヲ得ズ又上院ハ豫算ノ款項ヲ一々議スルヲ得ズ只其全体ヲ可否スルノ權ヲ有ス此レ普國ト其規定ヲ全フスル所ナ

リ吾國ニ於テハ特ニ明文ナキヲ以テ上下兩院均一ノ權ヲ有スルモノトス米佛諸國ニ於テモ亦上院ハ下院ト全シク修正權ヲ有ス

財政ノ緊急命令ハ我憲法ノ特有ニシテ他國ニ其比ヲ見ザル所ナリ各國一般ノ緊急命令ヲ認ムト雖モ特ニ財政ニ關シテ緊急命令ヲ規定セズ

憲法原理終

